

# 4

## ハードウェアについて

本章では、各ハードウェアと本製品に接続できる周辺機器について説明します。  
注意事項を守り、正しく取り扱ってください。

<b>1</b>	周辺機器の取り付けについて .....	64
<b>2</b>	セレクトابل機器の差し替え .....	65
<b>3</b>	フロッピーディスクドライブ .....	67
<b>4</b>	CD-ROM ドライブ .....	71
<b>5</b>	PC カード .....	75
<b>6</b>	電話回線への接続 .....	79
<b>7</b>	LAN の接続 .....	80
<b>8</b>	USB 機器 .....	84
<b>9</b>	i.LINK ( IEEE 1394 ) 機器 .....	85
<b>10</b>	プリンタ .....	87
<b>11</b>	その他の機器 .....	89

# 1 周辺機器の取り付けについて

周辺機器の取り付けや使用方法については、それぞれの周辺機器に付属の説明書をあわせてお読みください。

取り付け / 取りはずしの方法は周辺機器によって違います。各項を読んでから作業をしてください。



**注意** ・パソコンが動作中に着脱することが認められていない周辺機器を接続する場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。



お願い

- ・適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ・湿度やホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- ・静電気が発生しやすい環境では作業をしないでください。
- ・作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
- ・本製品を改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。

## ● パソコン本体へのケーブルの接続

次の点に注意して、接続してください。

パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向を合わせる

ケーブルのコネクタに固定用ネジがある場合は、パソコン本体のコネクタに接続した後、ケーブルがはずれないようにネジを締める



お願い

- ・ケーブルなどを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

周辺機器を使用するときは、このほかに作業が必要なことがあります。また、その必要な作業は、使用するシステムで異なることがあります。それぞれの周辺機器に付属の説明書をご覧ください。

☞ 『周辺機器に付属の説明書』

## ② セレクタブル機器の差し替え

セレクタブルベイには、次にあげる機器を取り付けることができます。

- ・CD-ROM ドライブ
- ・フロッピーディスクドライブ
- ・CD-RW ドライブ（別売り）
- ・DVD-ROM ドライブ（別売り）
- ・スーパーディスクドライブ（別売り）

いずれもご使用にならないときは、セレクタブルベイにウェイトセーバを取り付けておきます。



- 注意**
- ・安全のために、セレクタブルベイにはセレクタブル機器またはウェイトセーバのいずれかを取り付けてお使いください。
  - ・次の状態のときには、セレクタブル機器の差し替えを行わないでください。パソコン本体あるいはセレクタブル機器が故障する場合があります。また、データが消失するおそれがあります。
    - ・電源が入っているとき
    - ・スタンバイ状態
    - ・休止状態

### ● セレクタブル機器の差し替え

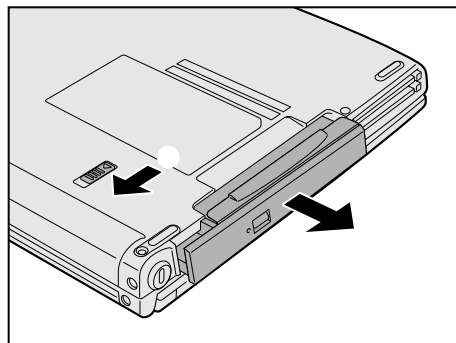
- 1 データを保存し、アプリケーションを終了する
- 2 [スタート]-[Windowsの終了]をクリックする
- 3 [終了]を選択し、[OK]ボタンをクリックする  
Windowsを終了して電源が切れます。
- 4 パソコン本体からACアダプタと周辺機器のケーブル類をはずす
- 5 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す



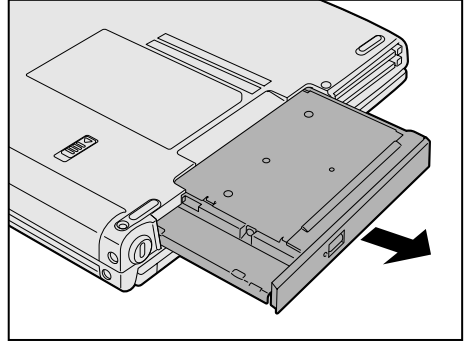
お願い

・パソコン本体を裏返すときは、衝撃を与えないよう注意してください。

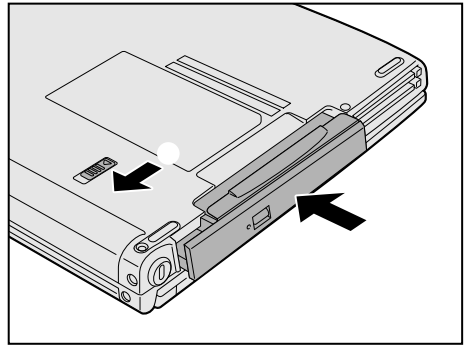
- 6 セレクタブルベイロックを解除し、  
セレクタブルベイを引き出す  
セレクタブルベイから機器が少し出てきます。



- 7** セレクタブル機器をしっかりつかんで引き出す  
装置は水平に引き出してください。



- 8** セレクタブルベイロックを解除し、セレクタブルベイに取り付ける機器を裏返し、しっかり差し込む



- 9** セレクタブルベイロックがロック位置になっていることを確認する

# ③ フロッピーディスクドライブ

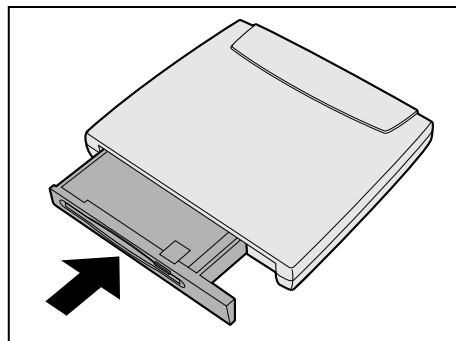
## ① フロッピーディスクドライブの取り付け

本製品に同梱されているフロッピーディスクドライブは、セレクトابلベイに取り付けるか、付属のケーブルを使用してPRT / FDD コネクタに接続して使用できます。

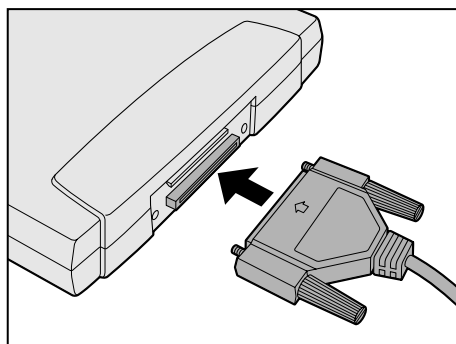
☞ セレクトابلベイへの取り付け ☞ 「本章 2 セレクトابل機器の差し替え」

### ● 取り付け

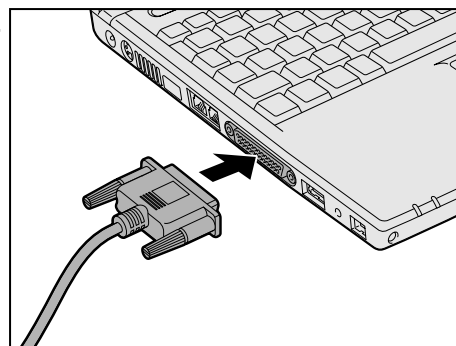
- 1 FDD アタッチメントケースにフロッピーディスクドライブを取り付ける  
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



- 2 フロッピーディスクドライブにケーブルを接続する  
コネクタの形に注意して差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。  
ケーブルは、動かないようネジでしっかりと固定してください。

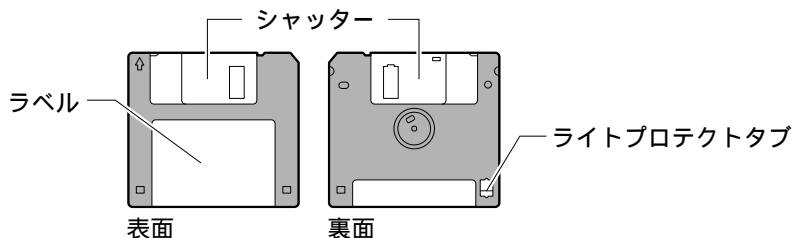


- 3 パソコン本体のPRT / FDD コネクタにケーブルのプラグを差し込む  
ケーブルは、動かないようネジでしっかりと固定してください。



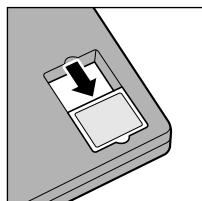
## ② フロッピーディスク

フロッピーディスクは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



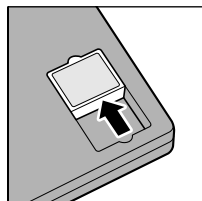
ライトプロテクトタブの状態で、次のようになります。

### ● ライトプロテクトタブの状態



#### 書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が開いた状態にします。  
この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みはできません。  
データの読み取りはできます。



#### 書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを「カチッ」と音がするまで移動させて、穴が閉じた状態にします。  
この状態のフロッピーディスクには、データの書き込みも読み取りもできます。

👉 フロッピーディスクの使用について ⇨ 「日常の取り扱い-フロッピーディスク」

### 3 フロッピーディスクのセットと取り出し

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブに挿入することを「フロッピーディスクをセットする」といいます。


#### ● フロッピーディスクのセット

- 1 フロッピーディスクの隅に印刷されている矢印の向きに合わせて挿入する  
「カチッ」と音がするまで挿入します。正しくセットされると取り出しボタンが出てきます。

#### ● フロッピーディスクの取り出し



お願い

・セレクトラブルベイ動作ランプ  が点灯中は、フロッピーディスクを取り出さないでください。フロッピーディスク内のデータが壊れることがあります。

- 1 取り出しボタンを押す  
フロッピーディスクが少し出てきます。そのまま手で取り出します。

### 4 フロッピーディスクのフォーマット

新品のフロッピーディスクを使うときには、使用するシステムにあわせて「フォーマット」という作業が必要です。

フォーマットとは、フロッピーディスクにトラック番号やヘッド番号などの基本情報を書き込み、フロッピーディスクを使えるようにすることです。

新品のフロッピーディスクには、システムの種類別にフォーマットされているものと、フォーマットを行わずに販売されているものがあります。新品のフロッピーディスクを使用する場合は、「Windows フォーマット済み」かどうか確認してください。フォーマットされていないフロッピーディスクは、必ずフォーマットを行なってください。他のシステム上でフォーマットされたフロッピーディスクも、Windows 上でフォーマットすることにより、Windows で使用することができます。



お願い

・フォーマットを行うと、そのフロッピーディスクに保存されていた情報はすべて消えます。一度使用したフロッピーディスクをフォーマットする場合は注意してください。

## フォーマット方法

Windows でのフォーマット方法を簡単に説明します。詳しくは、Windows のヘルプをご覧ください。

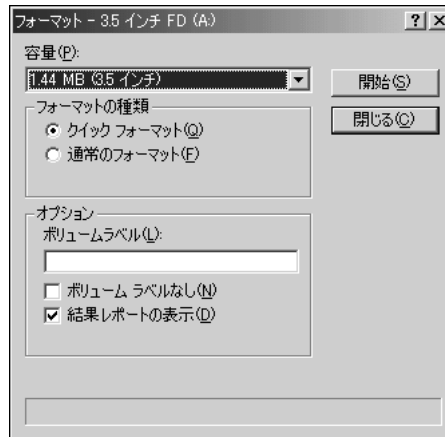


メモ

- ・他社のパソコンでフォーマットしたフロッピーディスクの中には使用できないものがあります。
- ・2HD フロッピーディスクを2DD タイプでフォーマットしたり、またその逆でのフロッピーディスクの使用はできません。正しくフォーマットされているフロッピーディスクを使用してください。
- ・フォーマット形式は、2DD の場合は720KB、2HD の場合は1.44MB のみになります。

- 1 フォーマットするフロッピーディスクをセットする
- 2 デスクトップ上の [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックする
- 3 [3.5 インチ FD (A:)] のアイコンをクリックする  
[3.5 インチ FD (A:)] のアイコンが選択され、アイコンの色が反転します。
- 4 [ファイル] メニューの [フォーマット] を選択する
- 5 フォーマット方法を選択し、[開始] ボタンをクリックする

未フォーマットのフロッピーディスクを使用して、フォーマットや起動ディスクの作成をする場合、かなり時間がかかることがあります。



(表示例)

フォーマットが開始されます。

フォーマットが終了すると、フロッピーディスクの情報が表示されますので、確認してください。

- 6 [フォーマット結果] の内容を確認し、[閉じる] ボタンをクリックする  
これで、フォーマットは完了です。

他のフロッピーディスクも続けてフォーマットする場合は、フロッピーディスクを入れ替えて、手順5から実施します。

フォーマットを終了する場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。



# 4 CD-ROM ドライブ

本製品のセレクトラブルベイには標準で CD-ROM ドライブが用意されています。フロッピーディスクドライブ、または別売りの CD-RW ドライブ / DVD-ROM ドライブ / スーパーディスクドライブと差し替えることもできます。

☞ セレクトラブル機器について ⇒ 「本章 2 セレクトラブル機器の差し替え」

## 1 使用できる CD

CD-ROM ドライブで読み込み可能な CD は、次の種類です。

音楽用 CD

8cm、12cm の音楽用 CD を聴くことができます。

フォト CD

CD-ROM

使用するシステムに適合する ISO 9660 フォーマットのものが使用できます。

CD エクストラ

CD-RW

CD-R

☞ CD の使用について ⇒ 「日常の取り扱い-CD / DVD」



**注意** ・本製品では円形ディスクのみご使用いただけます。  
円形以外のディスクを使用すると、本製品の故障の原因となります。



メモ

・メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

## 2 CD のセットと取り出し



**注意** ・ディスクトレイ内のレンズに触れないでください。CD-ROM ドライブの故障の原因になります。  
・セレクトラブルベイ動作ランプが点灯しているときは、CD-ROM ドライブが動作しています。このときは、取り出しボタンを押さないでください。CD を傷つけたり、CD-ROM ドライブの故障の原因となります。



お願い

・パソコン本体を携帯するときは、CD-ROM ドライブに CD が入っていないことを確認してください。入っている場合は取り出してください。



メモ

・CD は、電源が入っているときにセット / 取り出しができます。  
・次の場合は、ディスクトレイは取り出しボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。  
・電源を入れた直後  
・リセットした直後  
・ディスクトレイを閉じた直後  
これらの場合には、時間を置いてから、取り出しボタンを押してください。

## ● CD のセット

CD-ROM ドライブへCDをセットするには、次のように行います。

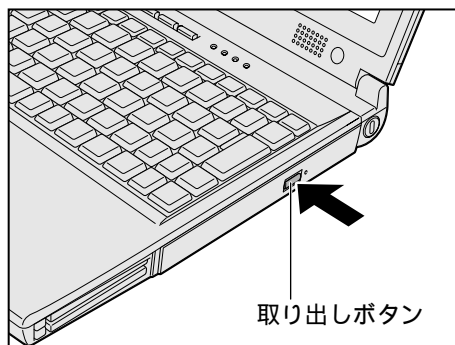
### 1 パソコン本体の電源を入れる



・電源が入っていないと、取り出しボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。

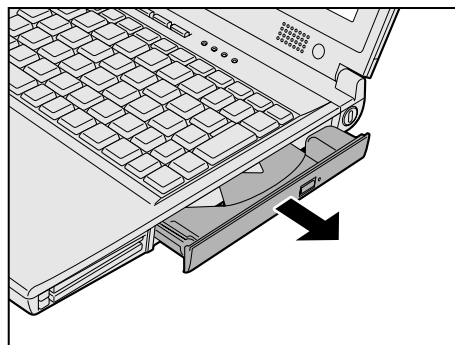
### 2 取り出しボタンを押す

取り出しボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。

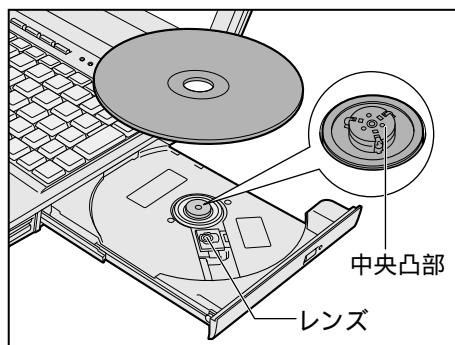


### 3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

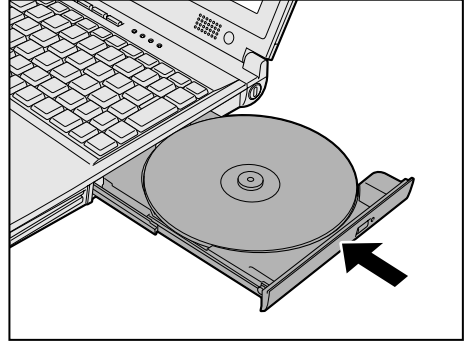


### 4 文字が書いてある面を上にして、CDの穴の部分をディスクトレイの中央凸部分に合わせ、上から押さえてセットする カチッと音がして、セットされていることを確認してください。



- 注意** ・ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。CD-ROMドライブの故障の原因になります。
- ・CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
  - ・CDを正しくディスクトレイにセットしないと、CDを傷つけることがあります。

- 5** 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す  
 CDの種類によっては、再生やアプリケーションの起動が自動的に行われる場合があります。



## ● CD の取り出し

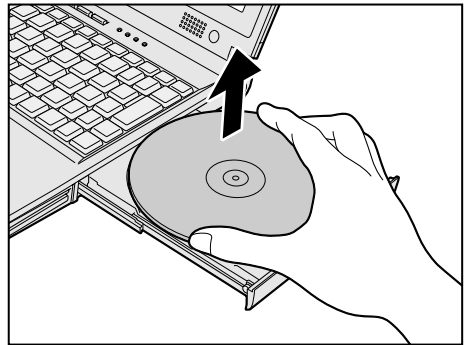
**!** 注意 ・セレクトラブルベイ動作ランプ (  ) が点灯中は、CDを取り出さないでください。CDのデータやCD-ROMドライブがこわれるおそれがあります。



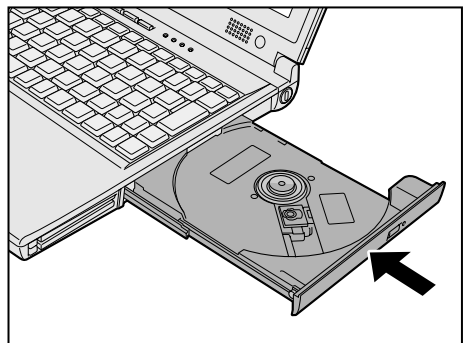
お願い

・パソコン携帯時は、CD-ROMドライブに入っているCDは取り出してください。

- 1** パソコン本体の電源を入れる
- 2** 取り出しボタンを押す  
ディスクトレイが少し出てきます。
- 3** ディスクトレイを引き出す  
CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。
- 4** CDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す  
ディスクトレイからCDを取り出します。  
CDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押ししてください。簡単に取り出せるようになります。



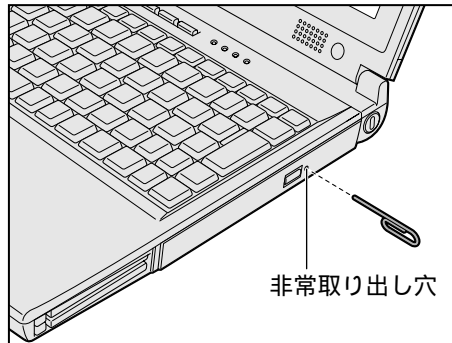
- 5** 「カチッ」と音がするまで、ディスクトレイを押し戻す





メモ

- ・電源を切っているときに取り出しボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、CD-ROMドライブの非常取り出し穴を、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。



注意

- ・電源が入っているときには、非常取り出し穴を押さないでください。回転中のCDのデータやCD-ROMドライブがこわれるおそれがあります。

# 5 PC カード

本製品には、PC カード（別売り）を取り付けることができます。



**注意** ・ホットインサクションに対応していない PC カードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け / 取りはずしを行なってください。



メモ

- ・市販されている PC カードには、自己発熱の大きいものがあります。このようなカードを長時間動作させていると、自己発熱の影響により、カードの動作が不安定になる場合があります。また、他のカードと併用すると、熱の影響により、他のカードの動作も不安定になる場合があります。
- ・ホットインサクション  
パソコン本体の電源を入れたままで、PC カードの取り付け / 取りはずしをすることをいいます。ただし、PC カードによってはこの機能に対応していないものがあります。

使用できる PC カードのタイプは、取り付けるスロットによって異なります。

使用スロット	使用可能タイプ
1（上側）	TYPE
0（下側）	TYPE /

PC カードの例を次にあげます。

- モデムカード
- SCSI アダプタ
- フラッシュメモリ
- LAN カード
- CardBus 対応カード



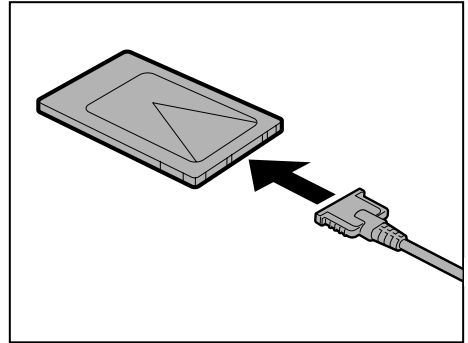
メモ

- ・スロット 0 にタイプ の PC カードを取り付けた場合は、スロット 1 に PC カードを取り付けることはできません。

👉 『PC カードに付属の説明書』

## ● 取り付け

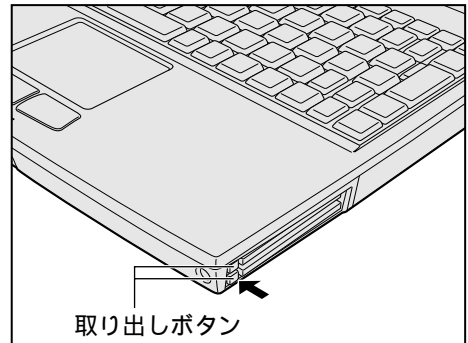
- 1 PCカードにケーブルを付ける  
LANカードなど、ケーブルを接続することが必要なカードの場合は、この作業を行なってください。



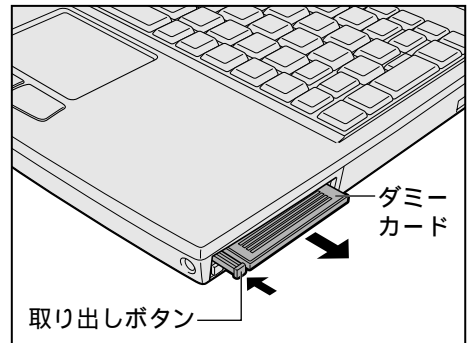
お願い

- ・ケーブルを接続するときは、コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。

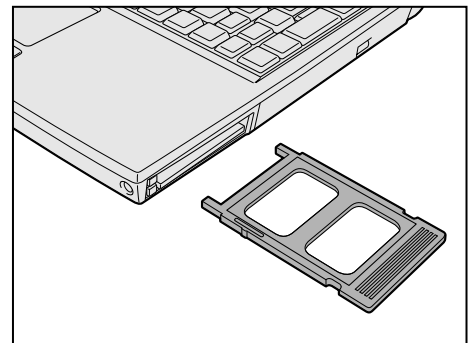
- 2 取り出しボタンを押す  
取り出しボタンが出てきます。



- 3 再度、取り出しボタンを押す  
「カチッ」と音がするまで押してください。  
ダミーカードが少し出てきます。



- 4 ダミーカードを抜く  
ダミーカードはなくさないように大切に保管してください。



## 5 上下や方向を確認し、PCカードを挿入する

カードを確実に接続するために、無理な力を加えずに静かに押してください。

カードを接続した後、カードの設定を確認してください。

☞ カードの接続および環境の設定方法 ⇨ 『PCカードに付属の説明書』

## 取りはずし



**注意** ・PCカードの使用停止は必ず行なってください。使用停止せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。



お願い

・PCカードをアプリケーションやシステムで使用していないことを確認してから取りはずしを行なってください。

### 1 PCカードの使用を停止する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

[PCカード(PCMCIA)]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。

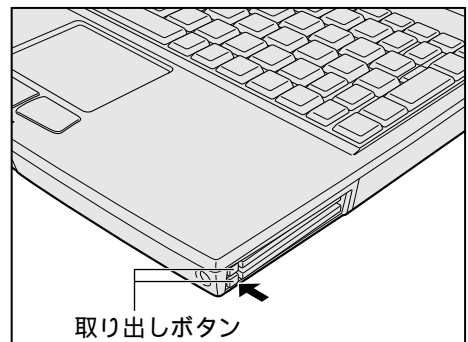
取りはずすPCカードを選択して、[停止]ボタンをクリックする

「安全に取りはずせません」のメッセージが表示されたら、[OK]ボタンをクリックする



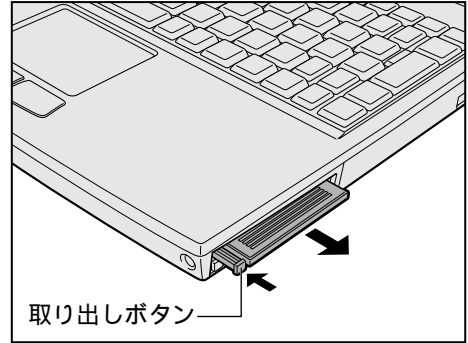
### 2 取りはずしたいカードの取り出しボタンを押す

取り出しボタンが出てきます。



### 3 再度、取りはずしたいカードの取り出しボタンを押す

「カチッ」と音がするまで押してください。  
カードが少し出てきます。

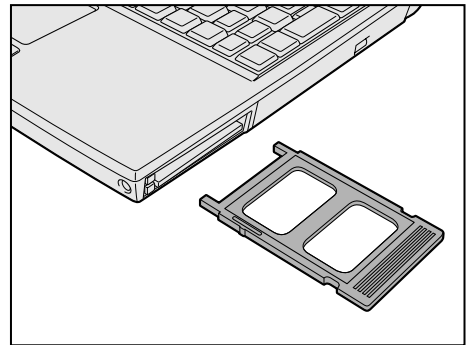


### 4 カードをしっかりとつかみ、引き抜く



**注意** ・PCカードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからPCカードを取りはずしてください。または手袋などを着用の上取りはずしてください。

### 5 ダミーカードを取り付ける



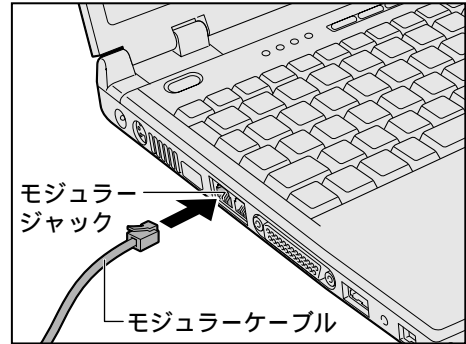


# 6 電話回線への接続

内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを使って2線式の電話回線に接続します。

## 取り付け

- 1 モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む



- 注意** ・モジュラーケーブルを接続するときは、プラグの差し込み先がモジュラージャックであることを十分に確認してから接続してください。モジュラージャックはLANコネクタの横にあります。誤ってモジュラーケーブルをLANコネクタに接続しないでください。誤ったコネクタに接続すると故障のおそれがあります。

- 2 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む  
ISDN回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ(TA)またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。

- 注意** ・内蔵モデムは日本国内専用です。海外でモデムを使用すると故障のおそれがあります。  
・内蔵モデムは一般電話回線(アナログ回線)に接続して使用してください。デジタル回線(ISDN回線など)には接続できません。デジタル回線対応の公衆電話のデジタル側やデジタル式交換機(PBX)へ接続すると、故障のおそれがあります。ホームテレホンやビジネスホン用の電話回線には絶対に接続しないでください。



お願い

- ・モジュラープラグをモジュラージャックに接続するときは、「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。
- ・市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- ・回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの(未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの)を使用してください。
- ・モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。

☞ 電話回線への接続設定について ☞ 「5章 2 インターネットに接続する」

## 取りはずし

- 1 パソコン本体と電話機用モジュラージャックに差し込んであるモジュラープラグを抜く

# 7 LAN の接続

本製品には、Fast Ethernet (100BASE-TX)、Ethernet (10BASE-T)に対応した LAN インタフェースが内蔵されています。本製品の LAN コネクタに LAN ケーブルを接続すると、Fast Ethernet、Ethernet であるかを検出し、自動的に切り替えます。ここでは、LAN ケーブルの接続、LAN インタフェースをご使用になる際の注意事項を説明します。

## 1 適正なケーブルの確認

LAN インタフェースを 100BASE-TX 規格 (100Mbps) でご使用になるときは、必ずカテゴリ 5 (CAT5) のケーブルおよびコネクタを使用してください。カテゴリ 3 (CAT3) のケーブルは使用できません。

10BASE-T 規格 (10Mbps) でご使用になるときは、カテゴリ 3 または 5 のケーブルが使用できます。



メモ

・i.LINK (IEEE1394) ケーブルを使って、i.LINK による LAN 接続を行うこともできます。

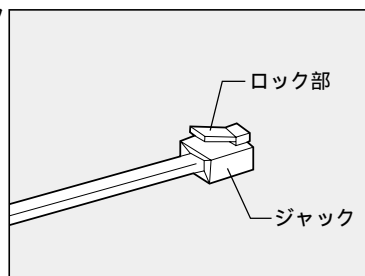
☞ 「本章 9-2 i.LINK による LAN 接続」

## 2 LAN ケーブルの接続



お願い

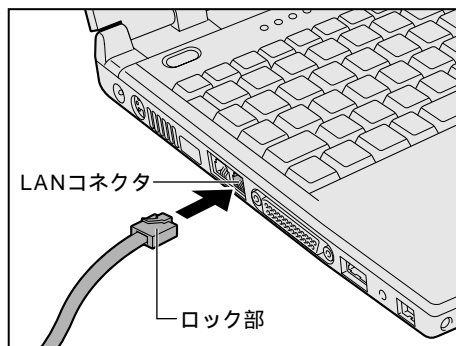
・LAN ケーブルをはずしたり差し込むときは、ジャックの部分を持って行ってください。また、はずすときは、ジャックのロック部を押しながらはずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。



**1** パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る

**2** LAN ケーブルのジャックを左側面の LAN コネクタに差し込む

ロック部を上にして、パチンと音がするまで差し込んでください。



**3** LAN ケーブルのもう一方のジャックを接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

ネットワーク機器の接続先やネットワークの設定は、『Windows のヘルプ』をご覧ください。また会社や学校でお使いの場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

### 3 Windows のネットワーク設定について

ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。ネットワークの設定内容は、ネットワーク環境によって異なります。接続するネットワークのネットワーク管理者の指示に従って設定を行なってください。購入時は既定値に設定されています。既定値のままネットワークに接続すると、ネットワークに障害をもたらす場合があります。また、セットアップが終了し、Windows の起動時に、ネットワークパスワードを入力する必要がある場合があります。後述の「起動時のパスワードの入力」を参照のうえ、パスワードを入力してください。



**注意** ・購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windows のセットアップ時にケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、ケーブルをはずした状態で Windows のセットアップを行なってください。

## ● ネットワークの設定

**1** [ スタート ] - [ 設定 ] - [ コントロールパネル ] をクリックする

**2** [ ネットワーク ] アイコンをダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [ すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。 ] をクリックしてください。

**3** [ ネットワークの設定 ] タブで変更を行う

コンピュータに接続されているネットワークアダプタによって、画面内のアダプタ名は異なります。



(表示例)

ネットワーク管理者の指示に従い、ネットワークの設定を行なってください。

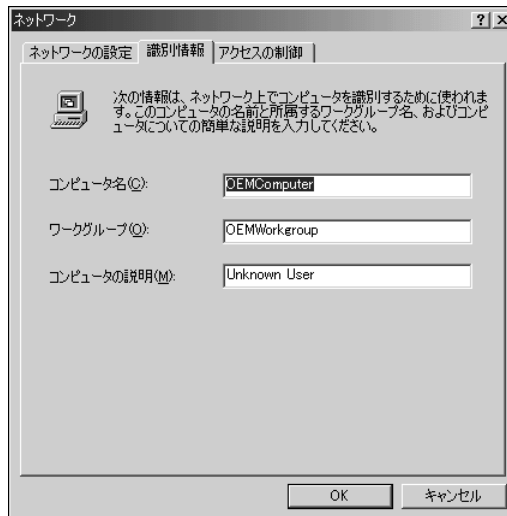
ネットワーククライアント .... ほかのコンピュータに接続する機能です。

プロトコル ..... コンピュータが通信するための言語です。通信する複数のコンピュータどうしは、同じプロトコルを使用する必要があります。

アダプタ ..... コンピュータを物理的に接続するハードウェアデバイスです。

サービス ..... このコンピュータのファイルやプリンタなどのリソースを、ほかのコンピュータから使えるようにします。

#### 4 [ 識別情報 ] タブで、[ コンピュータ名 ] [ ワークグループ ] をネットワーク管理者の指示に従い、設定する

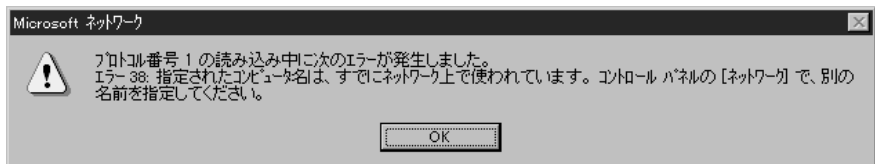


( 表示例 )



**注意**

・コンピュータ名とワークグループは必ず既定値 ( OEMComputer、OEMWorkgroup ) の状態から変更してください。既定値のままのコンピュータを複数台ネットワークに接続しますと、コンピュータ名が重複し、次のエラーメッセージが表示されますので、必ず重複しないコンピュータ名を付けてください。



## 5 [アクセスの制御] タブで、変更を行う



(表示例)

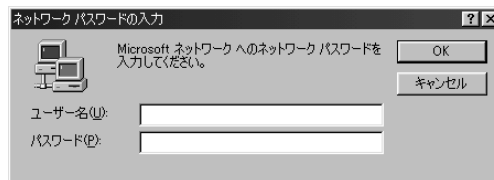
共有リソースへのアクセス権の管理方法を設定します。

## 6 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックし、パソコン本体を再起動する

### ● 起動時のパスワードの入力

#### 1 パソコンの電源を入れる

- 2 ネットワーク管理者の指示に従い、ユーザー名と、パスワードを入力する  
 ここで表示されるダイアログボックスは、ネットワークの設定内容によって異なります(ネットワーククライアントの種類、ドメインサーバにログオンするかどうかなど)。ここでは、次のダイアログボックスを例にあげていますが、他のダイアログボックスの場合もネットワーク管理者の指示に従い、入力してください。



(表示例)



メモ

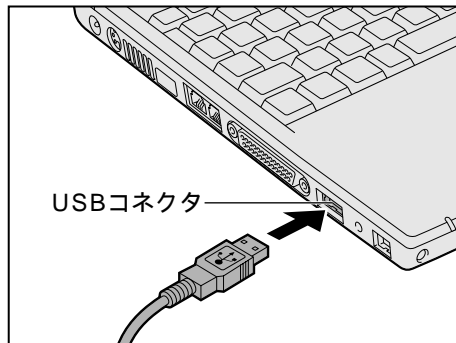
- ・パスワードは、忘れないようにしてください。ネットワークにログオンできなくなります。忘れた場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

# 8 USB 機器

本製品には、USB 規格の機器を取り付けることのできる、USB コネクタが用意されています。

## ● 取り付け

- 1 USB ケーブルのプラグをパソコン本体の USB コネクタに差し込む



- 2 USB ケーブルのもう一方のプラグを USB 機器に差し込む  
手順 2 が必要ない機器もあります。



お願い

- ・ USB 対応の周辺機器を使用するには、システム (OS) および周辺機器用ドライバの対応が必要です。
- ・ 今後出荷される USB 対応の周辺機器については、動作確認ができていないためすべての周辺機器の動作を保証することはできません。

## ● 取りはずし

- 1 パソコン本体と USB 機器に差し込んである USB ケーブルを抜く

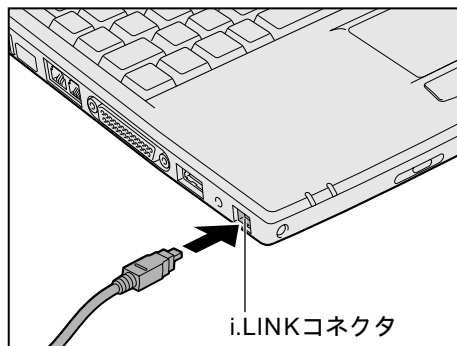
☞ USB 機器についての詳細 ☞ 『USB 機器に付属の説明書』

本製品には、i.LINK (IEEE1394) 規格の機器を取り付けることのできる、i.LINK コネクタが用意されています。

## 1 ケーブルの取り付け / 取りはずし

### ● 取り付け

- 1 ケーブルのプラグをパソコン本体の i.LINK コネクタに差し込む



- 2 ケーブルのもう一方のプラグを i.LINK 対応機器に差し込む



お願い


- ・ケーブルなどを接続するときは、コネクタの形状と向きに注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。
- ・i.LINK 対応機器を使用するには、システム (OS) および周辺機器用ドライバの対応が必要です。
- ・すべての i.LINK 対応機器の動作確認は行なってありません。従って、すべての i.LINK 対応機器の動作を保証するものではありません。
- ・ケーブルは規格に準拠したもの (S100, S200, S400 対応) をご使用ください。詳細については、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。
- ・2m 以上の長さのケーブルは使わないようにしてください。
- ・取り付ける周辺機器によっては、スタンバイ機能または休止状態が設定できなくなる場合があります。
- ・i.LINK 対応機器を接続してアプリケーションから使用している間は、i.LINK 対応機器の取り付け / 取りはずしや電源コードと AC アダプタの取りはずしなど、パソコン本体の省電力設定の自動切り替えを伴う操作を行わないでください。その場合のデータ内容は保証できません。



メモ

- ・デジタルビデオカメラからの画像取り込みや書き戻しは、AC アダプタを接続した状態で行うことをおすすめします。コマ落ちが発生する場合は、ディスクを最適化する、または他のアプリケーションを終了させてください。  
ディスクの最適化  
[スタート]-[プログラム]-[アクセサリ]-[システムツール]-[デフラグ]をクリック

## ● 取りはずし

- 1 タスクトレイの [ハードウェアの取り外し] アイコン (  ) をクリックする
- 2 取りはずす i.LINK 対応機器を選択する
- 3 「安全に取りはずすことができます」のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする
- 4 パソコン本体と i.LINK 対応機器に差し込んであるケーブルを抜く



メモ

・デジタルビデオカメラを取りはずすときは、手順 1 ~ 3 は必要ありません。  
☞ i.LINK 対応機器について ☞ 『i.LINK 対応機器に付属の説明書』

## ② i.LINK による LAN 接続

i.LINK コネクタを持ち、システム (OS) が Windows Me のパソコン同士を i.LINK (IEEE1394) ケーブルで接続すると、LAN による通信ができます。



メモ

・i.LINK コネクタが用意されているパソコンでも、機種によっては接続できない場合があります。

## ● 接続方法

- 1 ケーブルの一方のジャックをパソコン本体の i.LINK コネクタに接続する
- 2 ケーブルのもう一方のジャックを接続する機器の i.LINK コネクタに接続する

☞ ネットワークの設定 ☞ 「本章 7-3 Windows のネットワーク設定について」



# 10 プリンタ

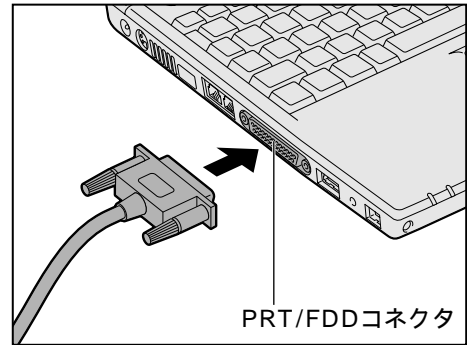
PRT / FDD コネクタにパラレルインタフェースを持つプリンタを接続します。また、USB コネクタに USB 対応のプリンタも接続できます。接続や設定について詳しくは『プリンタに付属の説明書』をご覧ください。

☞ USB 機器について ☞ 「本章 8 USB 機器」

## ● 取り付け

PRT / FDD コネクタに接続する場合の手順です。  
プリンタとパソコンの電源を切った状態で接続します。

- 1 プリンタケーブルのプラグをパソコン本体の PRT / FDD コネクタに差し込む



- 2 プリンタケーブルのもう一方のプラグをプリンタに差し込む  
プリンタの電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。

## ● プリンタの設定

### ● ドライバをインストールする

プリンタを使うには、ドライバのインストールが必要です。  
『プリンタに付属の説明書』の手順に従ってインストールを行なってください。

### ● プリンタポートモードの設定

ご使用になるプリンタに合わせてプリンタポートモードの設定が必要です。

- 1 BIOS セットアップを起動する

☞ 起動方法 ☞ 「7章 1-1 BIOS セットアップの起動方法」

- 2 [ System Devices ] メニューの [ Parallel port ] で [ Enabled ] または [ Auto ] を選択する

- 3 [ Enabled ] を選択した場合は [ Mode ] で、使用するプリンタに合ったモードに設定する

ECP (標準値).....	ECP 対応に設定します。大半のプリンタでは、ECP に設定します。
Bi-directional .....	双方向に設定します。一部のプリンタまたは、プリンタ以外のパラレルインタフェース対応機器を使用する場合に設定します。
EPP .....	EPP 対応に設定します。
Normal Mode .....	出力専用設定に設定します。

## 取りはずし

- 1 パソコン本体とプリンタに差し込んであるプリンタケーブルを抜く  
ご使用のプリンタに合わせて、プリンタの電源を切ってください。

# 11 その他の機器

## 1 PS/2 対応機器

パソコン本体の PS/2 コネクタに接続して使用します。

PS/2 対応機器には、次のようなものがあります。

- ・マウス
- ・キーボード
- ・テンキー
- ・トラックボール

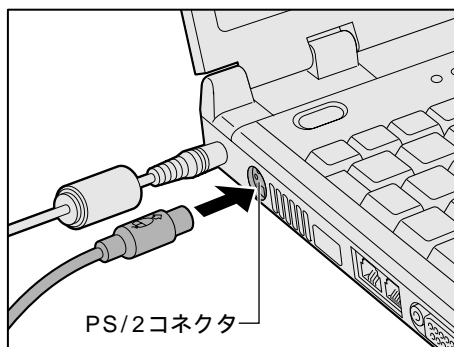


**注意** ・PS/2 対応機器を接続する場合には、必ず電源を切ってから行なってください。電源を入れたまま接続すると、故障のおそれがあります。

### ● 取り付け

#### 1 PS/2 コネクタに、ケーブルのプラグを差し込む

接続するときは、プラグに印刷されている矢印マークを上にしてしっかりと奥まで差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



## 2 マイクロホン

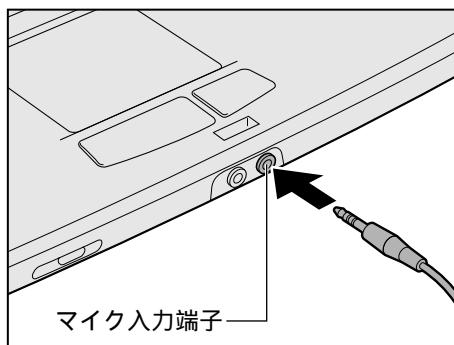
マイク入力端子に接続します。

マイクのプラグは、直径 3.5mm モノラルミニジャックタイプをお使いください。

### ● 接続

#### 1 マイクロホンのプラグをマイク入力端子に差し込む

取りはずすときは、マイク入力端子からマイクロホンのプラグを引き抜きます。



### 3 ヘッドホン

ヘッドホン出力端子に接続します。

ヘッドホンのプラグは、直径 3.5mm ステレオミニジャックタイプをお使いください。  
ヘッドホンの音量は音量調節バー、または Windows の「ボリュームコントロール」で調節してください。

👉 音量の調節 ⇨ 「1 章 6 音量の調節」

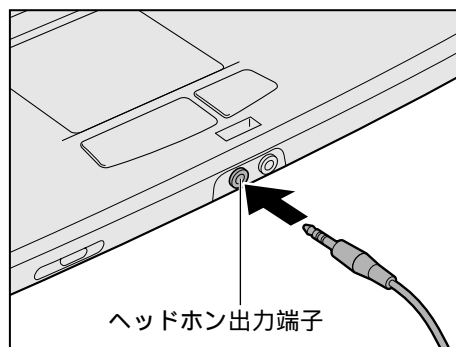


**注意** ・ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないように注意してください。  
耳を刺激するような大きな音量を長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えるおそれがあります。

### ● 接続

#### 1 ヘッドホンプラグをヘッドホン出力端子に差し込む

取りはずすときは、ヘッドホン出力端子からヘッドホンのプラグを引き抜きます。



お願い

- ・次のような場合にはヘッドホンを使用しないでください。雑音が発生する場合があります。
- ・パソコン本体の電源を入れる / 切るとき
- ・ヘッドホンの取り付け / 取りはずしをするとき

## 4 CRT ディスプレイ

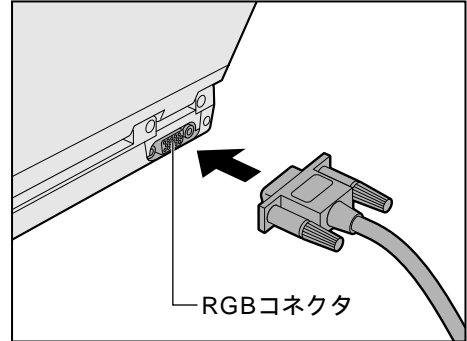
RGB コネクタにCRTディスプレイを接続できます。

⇒ CRTディスプレイの取り扱い ⇒ 『CRTディスプレイに付属の説明書』

### 取り付け

CRTディスプレイとパソコンの電源を切った状態で接続します。

- 1 CRTディスプレイに付属のケーブルのプラグをRGBコネクタに差し込む  
コネクタの形状に注意して正しく差し込んでください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。



- 2 ケーブルのもう一方のプラグをCRTディスプレイのコネクタに差し込む  
初めてCRTディスプレイを接続した場合、ドライバのインストールが必要です。パソコン本体の電源を入れ、画面の指示に従ってインストールを行なってください。

### 取りはずし

- 1 CRTディスプレイとパソコンの電源を切る
- 2 RGBコネクタに差し込んであるケーブルのプラグを抜く

### 表示方法の切り替え

CRTディスプレイを接続した場合、次の表示方法があります。

- ・ CRTディスプレイだけに表示する
- ・ CRTディスプレイと内部液晶ディスプレイに同時表示する
- ・ 内部液晶ディスプレイだけに表示する



お願い

- ・ 次のようなときには、表示方法を切り替えないでください。データが消失するおそれがあります。
  - ・ データの読み込みや書き込みをしている間  
エラーになります。データのやり取りが完了するまで待ってください。
  - ・ 通信を行なっている間  
エラーになります。通信が完了するまで待ってください。

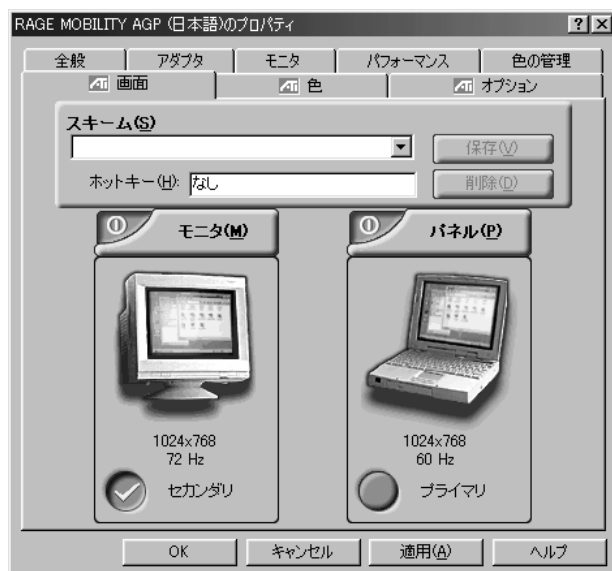


メモ


- ・ CRTディスプレイに表示する場合、表示位置や表示幅などが正常に表示されない場合があります。この場合は、CRTディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。

## ● 画面のプロパティで設定する

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [画面]をダブルクリックする
- 3 [設定]タブで[詳細]ボタンをクリックする
- 4 [画面]タブで表示させるディスプレイを選択する



(表示例)

ディスプレイアイコン左上の  ボタンをクリックしてディスプレイを有効にします。有効になっている場合は、ディスプレイのアイコンにデスクトップ画面が表示されます。

# 5

## インターネット / 電子メール

本章では、インターネットや電子メールを使うために必要な設定について説明します。

<b>1</b>	インターネットとは？ .....	94
<b>2</b>	インターネットに接続する .....	97
<b>3</b>	電子メールとは？ .....	109
<b>4</b>	電子メールを使う .....	110

# ① インターネットとは？

## ① インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータを接続する巨大なコンピュータネットワークです。

企業、学校、プロバイダなどの小規模のコンピュータネットワークを接続し、世界規模のコンピュータネットワークを形成します。

インターネットに接続すると、世界中のコンピュータに好きな時間にアクセスできるので、距離や時間を越えたコミュニケーションがインターネット上でできるようになります。



メモ

・プロバイダ

パソコンとインターネットの接続サービスを提供する会社です。正式には「インターネットサービスプロバイダ」といいます。個人でインターネットを利用する場合、どこかのプロバイダに入会する必要があります。

## ② インターネットのできること

インターネットでは次のようなサービスを利用できます。

### ● WWW (World Wide Web)

一般にホームページ、Web<sup>ウェブ</sup>ページなどとよばれる文字や画像でできたページを見ることが出来ます（以降本書ではホームページとよびます）。

ページ中の文字や画像をたどっていくと次々とページが表示され、目的の情報にたどりつくことができます。ホームページを見るにはブラウザとよばれるアプリケーションが必要です。

WWW サービスを利用して、インターネット上で行えること具体例を次にあげます。他にも目的に応じて、さまざまな活用方法があります。

- ・ゲームをする
- ・ショッピングをする
- ・チャットする
- ・自分のホームページを開く
- ・チケットなどの予約をする
- ・カラオケをする
- ・ラジオを聴く
- ・テレビを見る
- ・ダウンロードする（ソフトを入手する）
- ・データのやりとりをする

### ● 電子メール

インターネット上でやりとりする「手紙」です。

郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間でつきます。また、電話などと違い、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。

さらに画像や文書ファイルなどデジタルデータもメールと一緒に送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。



## ● ネットニュース

さまざまなテーマごとに分かれたグループ(「ネットグループ」といいます)があり、他の人と意見や情報を交換する場です。

ネットニュースにメッセージを投稿したり、投稿されたメッセージを読むには、ニュースリーダとよばれるアプリケーションが必要です。

## ③ インターネットに必要なもの

インターネットへ接続するためには次のものがが必要です。

電話回線または PHS、携帯電話など



メモ

- ・ PHS、携帯電話で接続するには別途接続用機器が必要です。
- ・ より高速な通信を行いたいときは ISDN 回線をおすすめします。ISDN 回線をお使いになる場合は、ターミナルアダプタ(TA)が必要です。

モデム

本製品に内蔵されています。

ブラウザ(アプリケーション)

インターネットエクスプローラ

本製品には「Internet Explorer」が用意されています。

PPP 対応接続用ソフト

本製品には Windows に標準で付属しているダイヤルアップネットワークが用意されています。

## ④ プロバイダを選ぶ

個人でインターネットに接続するには、必ずプロバイダに入会する必要があります。インターネットに接続する前にどのプロバイダに入会するかあらかじめ検討しておきましょう。

プロバイダを選択するときは、次のようなことをポイントにして選択するとよいでしょう。

同じ市外局番のアクセスポイントがある / アクセスポイントが多い

アクセスポイントの設置場所はプロバイダによって異なります。

インターネットに接続するには電話料金がかかりますので、アクセスポイントが遠いと電話料金が高くなってしまいます。通常、接続する場所から最も近いアクセスポイントを選択します。また、外出先で使用するなら、アクセスポイントが多いほうがよいでしょう。

☞ 詳細について ☞ 「本節 5 インターネットにかかる費用」



メモ

- ・ アクセスポイント  
各プロバイダが設置しているインターネットへの接続地点のこと。インターネットに接続するには、パソコンからアクセスポイントに電話をかけます。

自分に適している料金プランがある

各プロバイダがいろいろな料金プランを提供しています。インターネットを利用する時間を考え、適したプランを選択しましょう。

☞ 詳細について ☞ 「本節 5 インターネットにかかる費用」

プロバイダが対応している通信速度を確認する

自分のモデムやターミナルアダプタの通信速度を確認し、その速度に対応しているプロバイダを選択しましょう。

プロバイダが対応していなければ、高速のモデムやターミナルアダプタを使用しても、その速度で通信できず、性能を発揮できません。

また、携帯電話やPHSで接続する場合も、プロバイダが対応しているか確認しましょう。

プロバイダが提供しているサービスを確認する

インターネット接続サービス以外に、次のようなサービスが提供されています。

- ・コンテンツサービス
- ・メール/メール転送サービス
- ・ホームページ開設サービス

インターネットの目的に合わせて各プロバイダが提供しているサービスを確認しておきましょう。

メールアドレスを指定できる

プロバイダによって、好きなメールアドレスを使える場合と、プロバイダから割り当てられたアドレスを使用する場合があります。あらかじめ確認しておくとういでしょう。

サポート体制が充実している

インターネットに接続するときにエラーメッセージが表示され、接続できない場合があります。

自分で解決できないときに、各プロバイダのサポートセンタに問い合わせることになります。サポートセンタの営業時間なども考慮に入れるとういでしょう。

## 5 インターネットにかかる費用

インターネットに接続すると、電話会社へ支払う電話料金と、プロバイダへ支払う利用料金がかかります。

インターネットをどれくらい使うかを考え、料金体系を選択しましょう。

プロバイダの料金体系の例です。

従量料金制

プロバイダに接続した時間に応じて課金されます。

インターネットを短時間利用する人におすすめします。

固定料金制

プロバイダに何時間接続しても、支払う料金は定額です。

インターネットを長時間利用する人におすすめします。

基本料金 + 従量料金制

ある規定の接続時間までは固定、時間を越えた分だけ従量料金として課金されます。

最も一般的な料金体系です。

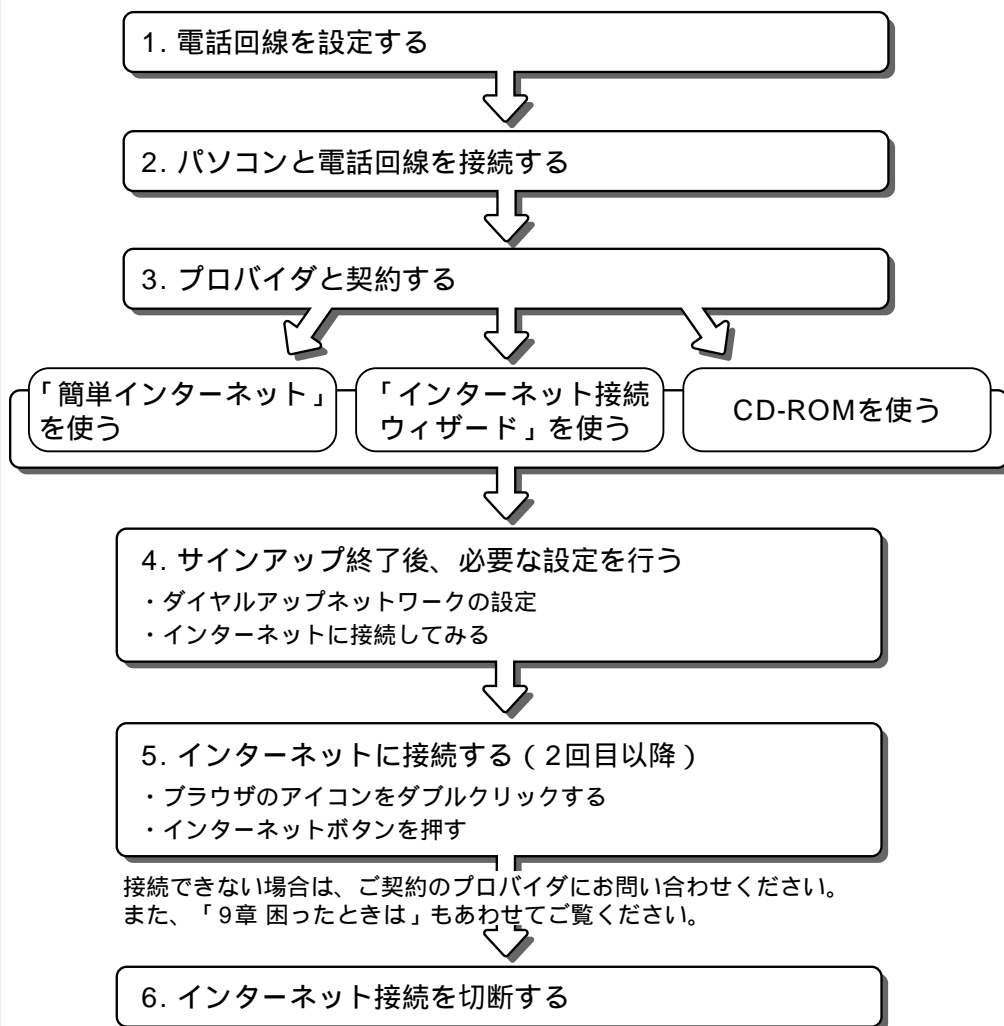


メモ

- ・プロバイダによっては、電話料金とプロバイダの利用料金をセットにして提供しているプランもあります。

## ② インターネットに接続する

次の流れで行います。



# 1 電話回線を設定する

## 1 お使いの電話回線を確認する

プッシュ式電話機をお使いの場合、ダイヤルボタンを押してダイヤル方法を確認しておきます。

ダイヤルボタンを押すと受話器から「ブツブツ」と音がする ..... パルス

ダイヤルボタンを押すと受話器から「ピポパ」と音がする ..... トーン

\* 本製品をご購入時は「トーン」に設定されています。

ご使用の回線がパルスの場合は、手順 2 で設定を「パルス」に変更してください。

## 2 所在地の情報を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする

[モデム]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

[ダイヤルのプロパティ] をクリックする



### [ 国名 / 地名 ]

「日本」が選択されているか確認します。

### [ 市外局番 ]

インターネットをする場所の市外局番を半角英数字で入力します。

### [ ダイヤル方法 ]

ご使用の電話回線を選択します。

パルス：ダイヤル式電話機、「ブツブツ」と音がするプッシュ式電話機

トーン：「ピポパ」と音がするプッシュ式電話機、ターミナルアダプタ (TA) を経由して ISDN 回線をご使用の場合

## [ 外線発信番号 ]

「0」などをダイヤルしてから外線につなぐ場合、その数字や記号を半角で入力します。外線番号に続けて「, (カンマ)」を入力すると、カンマ 1 個につき約 2 秒間のダイヤル待ち時間を設定できます。

うまくつながらない場合は、「0,」「0,,」のようにカンマをつけて試してみてください。

## 3 設定が終了したら、[ OK ] ボタンを押す

## 2 パソコンと電話回線を接続する

パソコンと一般電話回線を接続します。

PHSまたは携帯電話などをお使いの場合は、『PHS / 携帯電話に付属の説明書』をご覧ください。



- 注意**
- ・内蔵モデムは国内専用です。海外でモデムを使用すると、故障のおそれがあります。
  - ・内蔵モデムは一般電話回線（アナログ回線）に接続して使用してください。デジタル回線（ISDN回線など）には接続できません。デジタル回線対応の公衆電話のデジタル側やデジタル式交換機（PBX）へ接続すると、故障のおそれがあります。ホームテレホンやビジネスホン用の電話回線には絶対に接続しないでください。

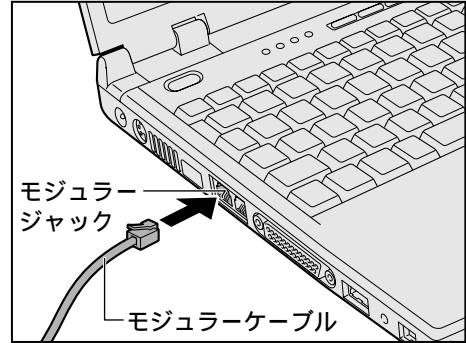
内蔵モデムを使用する場合、モジュラーケーブルを 2 線式の電話回線に接続します。内蔵モデムは、ITU-T V.90 および K56flex に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 または K56flex 以外の場合は、最大 33.6Kbps で接続されます。



お願い

- ・モジュラーケーブルの取り付け / 取りはずしは、パソコンの電源を切った状態で行なってください。
- ・市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- ・回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。
- ・雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- ・モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラ - ジャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。

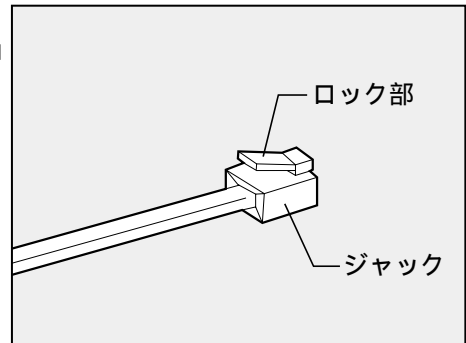
- 1** モジュラーケーブルのプラグの一方をパソコン本体のモジュラージャックに差し込む  
「カチッ」と音がするまで確実に押し込んでください。



- 2** もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラージャックに差し込む  
ISDN回線を使用する場合は、ご使用のターミナルアダプタ (TA) またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。

**● 取りはずすとき**

取りはずすときは、モジュラージャックに差し込んであるモジュラープラグのロック部分を押しさえながら抜きます。



### ③ プロバイダと契約する

プロバイダに入会するには、オンラインサインアップで入会する方法と、書類をプロバイダから取り寄せ、郵送やFAXなどで入会する方法があります。



メモ

#### ・オンラインサインアップ

プロバイダへの入会契約をオンラインで行うことです。

契約するとすぐにプロバイダのサービスを利用することができます。

オンラインサインアップで入会するには、ほとんどのプロバイダでクレジットカードの番号などが必要です。クレジットカードをお持ちでない場合は、各プロバイダにお問い合わせください。


ここでは、オンラインサインアップで入会するときの方法をいくつか説明します。

操作が簡単な「簡単インターネット」を使った方法をおすすめします。

また、「infoPepper」または「AOL」と契約する場合は、あわせて別添の『インターネットに接続しよう!』をご覧ください。詳しい説明があります。

### 「簡単インターネット」を使う

プロバイダの一覧から簡単に選択することができます。

- 1 デスクトップ上の [ 簡単インターネット ] (  ) アイコンをダブルクリックする

メッセージが表示されます。

- 2 パソコンと電話回線が接続されていることを確認し、[ OK ] ボタンをクリックする

- 3 必要な内容を設定する

コンピュータに接続されているネットワークアダプタによって、画面内のアダプタ名は異なります。



(表示例)

- 4** 設定が終了したら、[接続開始] ボタンをクリックする  
選択されたプロバイダ専用の接続画面が表示されます。表示される内容に従って、オンラインサインアップを行なってください。

## ● プロバイダ接続専用 CD-ROM などを使う

あらかじめ入会したいプロバイダの接続ソフトが収録してある CD-ROM などを入手しておきます。

- 1** パソコン本体に CD-ROM をセットする  
☞ CD のセット ☞ 「4 章 4 CD-ROM ドライブ」
- 2** 表示される画面に従って設定を行う

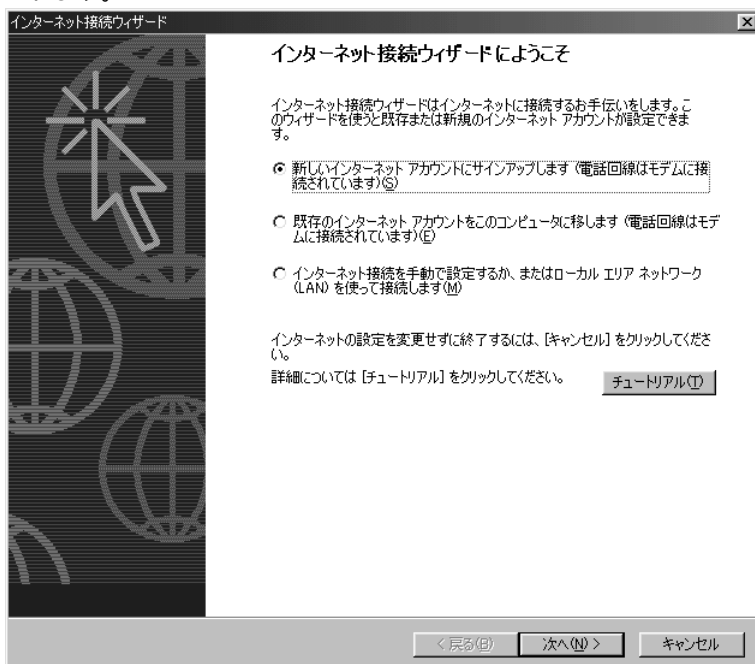
## ● 「インターネット接続ウィザード」を使う



メモ

・「インターネット接続ウィザード」は一般の電話回線（アナログ回線）からのみ接続できます。PHS、携帯電話、ISDN などからは接続できません。

- 1** [スタート]- [プログラム]- [アクセサリ]- [通信]- [インターネット接続ウィザード] をクリックする  
画面が表示されます。



- 2** 表示される画面に従って設定を行う




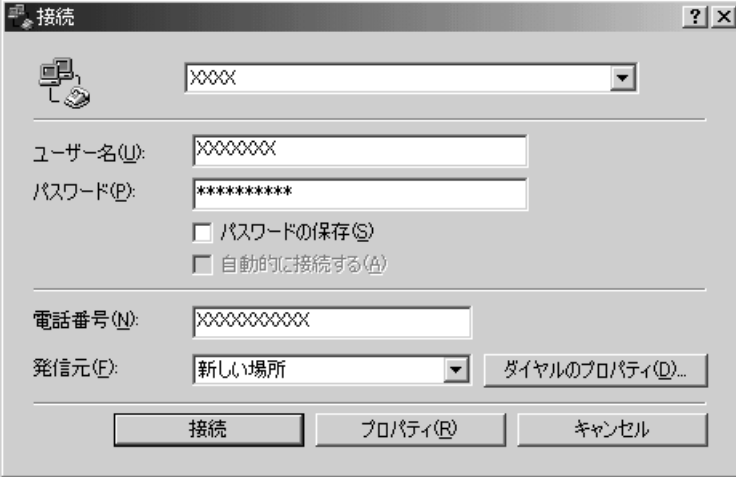
## 4 プロバイダと契約後、必要な設定を行う

プロバイダとの契約が終了した後、プロバイダによっては、パソコンへの設定が必要です。プロバイダによって設定内容は異なりますので、詳細は、プロバイダにお問い合わせください。

### ● 接続する前に

接続する前に、次の内容を入力または確認することをおすすめします。接続先や発信元に関する内容です。すでに設定されている項目もあります。

- 1 [スタート]- [設定]- [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする
- 2 [XX (接続先)] アイコン (  ) をクリックする
- 3 [接続] 画面で必要な設定を行う



#### [ユーザー名][パスワード]

プロバイダから指定されたユーザー名、パスワードを入力します。



メモ

・[パスワードの保存] をチェック (  ) すると、次回以降接続するときにパスワードの入力が不要になります。

#### [電話番号]

アクセスポイントの電話番号を入力します。

#### [発信元]

手順 4 に進んでください。

#### 4 [ダイヤルのプロパティ] ボタンをクリックする

発信元の情報を設定します。

☞ 「本節 1 電話回線を設定する」



#### 5 [ダイヤルのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

以上で設定は完了です。

## インターネットに接続してみる

設定が完了したら、実際にインターネットに接続してみます。

#### 1 [接続] 画面で、[接続] ボタンをクリックする




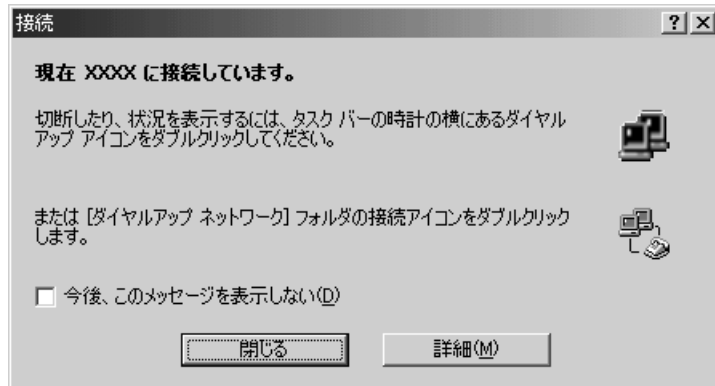
(表示例)

インターネットへの接続が開始されます。

接続中は次のような画面が表示されます。しばらく時間がかかる場合もあります。




接続が成功すると、次の画面が表示され、タスクバーに接続中アイコン (  ) が表示されます。



- 2** 内容を読んで [ 閉じる ] ボタンをクリックする  
これでインターネットへの接続は完了です。

### ● ホームページを見たいとき

デスクトップ上の「Internet Explorer」アイコン (  ) をダブルクリックすると「Internet Explorer」の画面が表示されます。アドレスを入力したり、検索機能を使って好きなページを見てみましょう。

### ● メールの送受信をしたいとき

メールの送受信をするには、初めに設定が必要です。

☞ 電子メールの設定について ☞ 「本章 4 電子メールを使う」


## 5 インターネットに接続する（2回目以降）

プロバイダとの契約やパソコンの設定が完了している場合の接続方法です。  
あらかじめパソコンと電話回線が接続されているか確認ください。

☞ 接続方法 ☞ 「本節 2 パソコンと電話回線を接続する」

インターネットに接続する場合は、最初に [ 接続 ] 画面が表示されます。必要な情報を入力または確認し、[ 接続 ] ボタンをクリックして接続します。  
ここでは [ 接続 ] 画面を表示する代表的な方法を説明します。

### ● 方法 1 - ブラウザのアイコンから接続する

- 1 デスクトップ上の「Internet Explorer」アイコン (  ) をダブルクリックする

[ 接続 ] 画面が表示されます。

- 2 画面の内容を入力または確認し、[ 接続 ] ボタンをクリックする

### ● 方法 2 - インターネットボタンから接続する

ワンタッチでブラウザを起動できます。




メモ

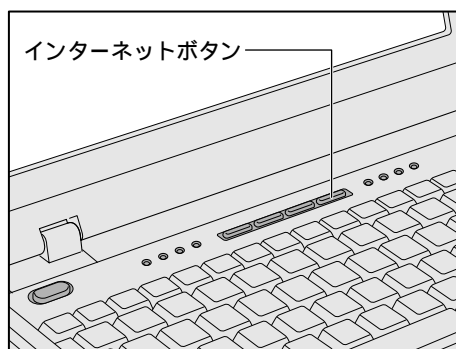
・インターネットボタンを使うには、イーザーボタンのユーティリティのセットアップが必要です。

☞ 「2章 2-2 イーザーボタンとタッチパッドを使うために」

既定値では「Internet Explorer」が起動するように設定されています。その他のソフトウェアに変更したい場合は、「6章 1 イーザーボタンを活用する」をご覧ください。

### ● 操作方法



- 1 インターネットボタン  を押す  
パソコン本体の電源がOFFのときは、インターネットボタンを2秒以上押し続けた後、指をボタンから離してください。電源がONになり、ブラウザが起動します。



続けて、[ 接続 ] 画面が表示されます。


- 2 画面の内容を入力または確認し、[ 接続 ] ボタンをクリックする

## ● 方法 3 - ダイヤルアップアイコン ( ) から接続する

- 1 [スタート]- [設定]- [ダイヤルアップネットワーク] をクリックする
- 2 [XX (接続先)] アイコン (  ) をダブルクリックする
- 3 画面の内容を入力または確認し、[接続] ボタンをクリックする  
接続が成功するとタスクバーに接続中アイコン (  ) が表示されます。




メモ


・ダイヤルアップアイコン (  ) は接続先の番号ごとに作成されます。インターネットをする場所によって複数の接続先を使い分ける場合は、わかりやすい名前をつけておくことで簡単に切り替えられます。

## ● 6 インターネット接続を終了する

代表的な切断方法を説明します。


接続が切断されると、タスクバーの接続中アイコン (  ) が消えます。

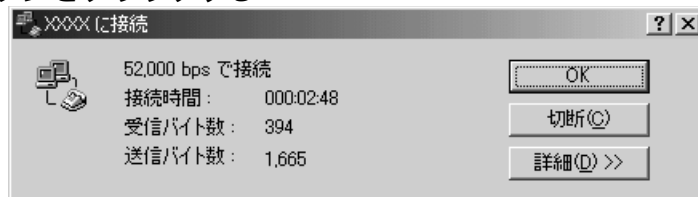
### ● 方法 1

- 1 タスクバーの接続中アイコン (  ) を右クリックし、表示されたメニューから[切断] をクリックする



### ● 方法 2

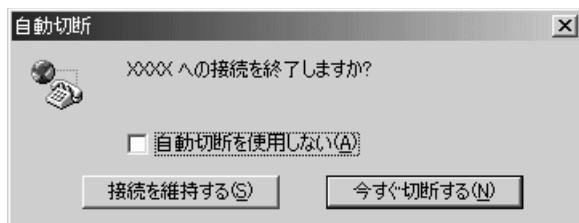
- 1 タスクバーの接続中アイコン (  ) をダブルクリックする
- 2 [切断] ボタンをクリックする



### ● 方法 3

「Internet Explorer」が表示されている場合です。

- 1 「Internet Explorer」画面右上の閉じるボタン **×** をクリックする
- 2 [今すぐ切断する] ボタンをクリックする



(表示例)

# ③ 電子メールとは？

## ① 電子メールとは

電子メールとは、インターネット上でやりとりする「手紙」です。郵便の手紙と比べて料金が安く、世界中どこでも短時間で届けられます。また電話などと違って、時間を気にせず送ったり、受け取ったりできるので便利です。さらに、メールと一緒に画像や文書ファイルなどデジタルデータも送れるため、友人同士のコミュニケーションはもちろん、ビジネスでも欠かせないものになっています。電子メールは、「Eメール（Electric Mailの略）」や、「インターネットメール」、「メール」と呼ばれることもあります。本書では「メール」という言葉を使用します。

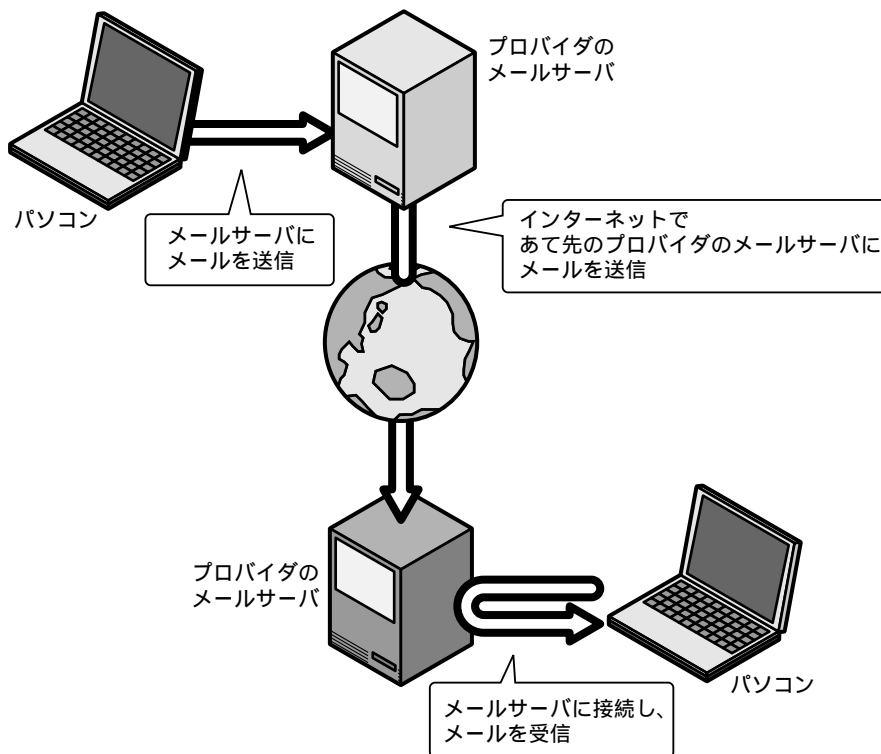
## ② メールのおくみ

パソコンで作った文章や画像などのデータを送ると、電話回線を介してプロバイダのメールサーバに届きます。プロバイダのメールサーバは、あて先のプロバイダのメールサーバにデータを送ります。相手先のプロバイダは、受け取ったメールを受信者別に整理して保存します。受信者は、プロバイダのメールサーバに接続し、自分あてに届いたメールを受け取り、これをパソコンに保存します。このように、メールは、自分の都合に合わせて送受信することができます。



メモ

- ・メールサーバ  
メールの配信サービスを提供するコンピュータのことです。メールの配信では、送信のために利用されるSMTPサーバと、届いたメールを保存し、受信者が取りにくるのを待つPOPサーバの2種類があります。



# 4 電子メールを使う

電子メールを使うには次の準備が必要です。

プロバイダとの契約が完了している / インターネットへ接続する設定が完了している

☞ 完了していない場合 ☞ 「本章 2 インターネットに接続する」

通常使用するメールソフトの設定をする

☞ 「本節 1 メールソフトを設定する」


電子メールを使うための設定が完了しているか確認する

☞ 「本節 2 メールソフトの設定を確認する」

また、本製品にはメールソフトをワンタッチで起動できるメールボタンがあります。

☞ 「本節 3 メールボタンを使う」

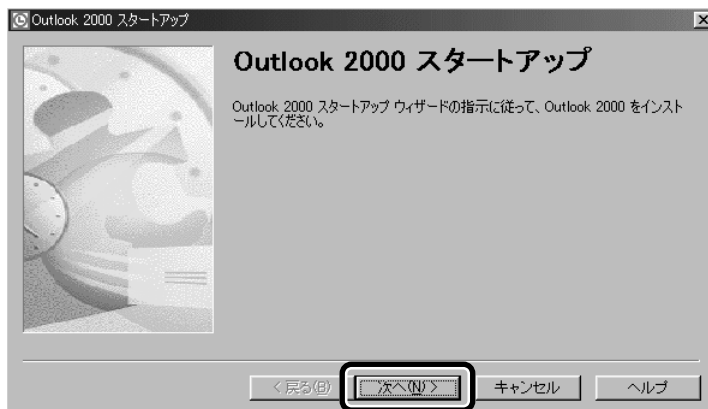
## 1 メールソフトを設定する

- 1 デスクトップ上の [ Microsoft Outlook ] (  ) アイコンをダブルクリックする

「通常使うマネージャとして設定しますか？」のメッセージが表示された場合、[ はい ] をクリックしてください。

初めて「Outlook 2000」を起動すると、「Outlook 2000 スタートアップウィザード」が起動します。

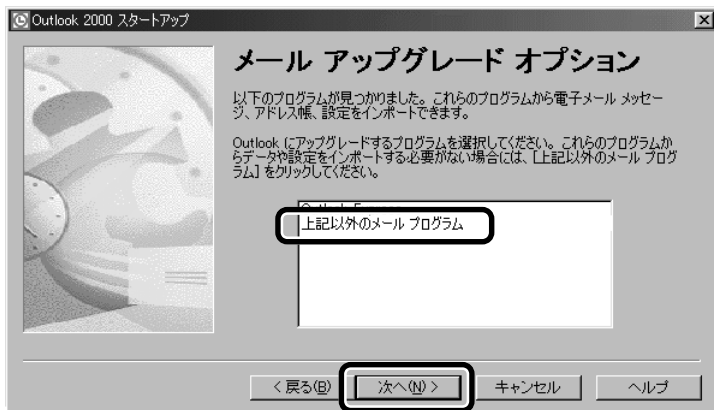
- 2 [ 次へ ] ボタンをクリックする



[ メール アップグレード オプション ] 画面が表示されます。

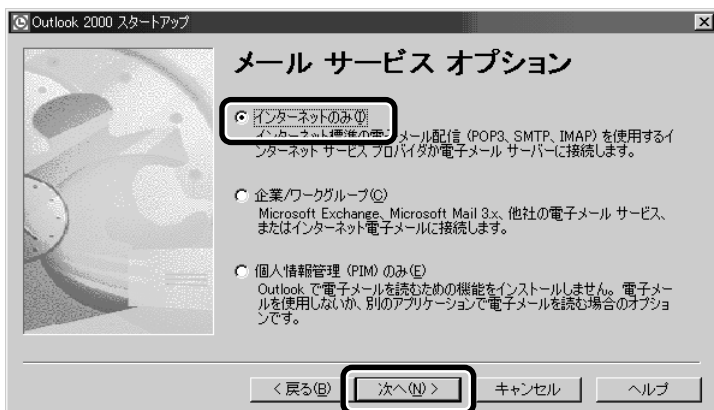


- 3 [上記以外のメール プログラム] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする

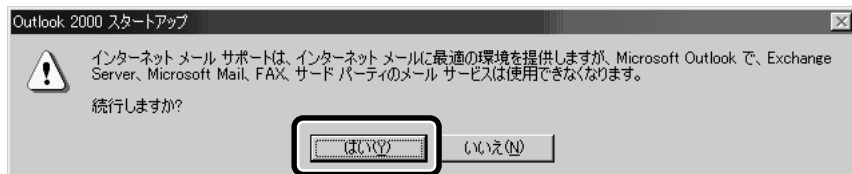


[メール サービス オプション] 画面が表示されます。

- 4 [インターネットのみ] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする

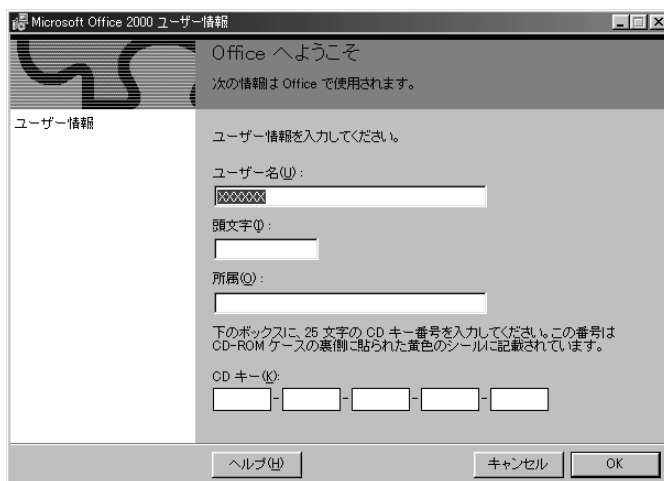


- 5 [はい] ボタンをクリックする





・初めて Microsoft Office (\*1) のアプリケーションを起動した場合、次の画面が表示されます。



(表示例)

この場合、Microsoft Office の CD キーを入力する必要があります。「Microsoft Office 2000 Personal CD-ROM」ケースの裏側のシールに印刷されている CD キーを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。

(\*1) Microsoft<sup>(R)</sup> Office Personal および Shogakukan Bookshelf<sup>(R)</sup> Basic

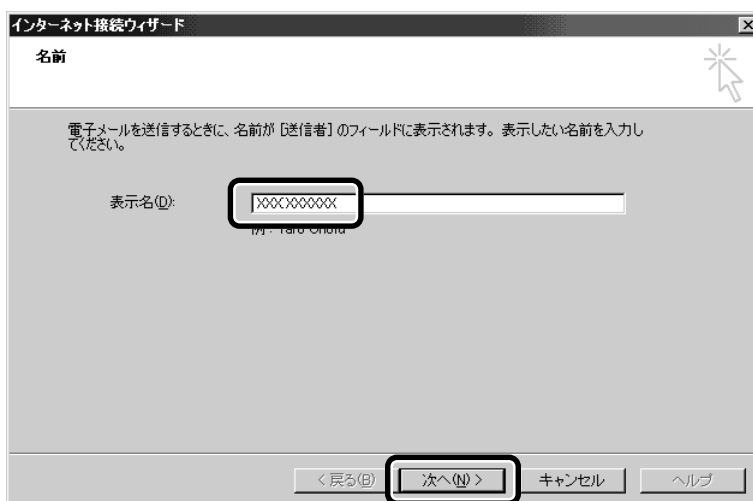
インターネット接続ウィザードが始まり、[名前]画面が表示されます。

## 6 [表示名] に名前を入力し、[次へ] ボタンをクリックする

電子メールを送るときの、送り主の名前を入力します。

ローマ字で入力すると、海外にメールを送る場合も判別できるので便利です。

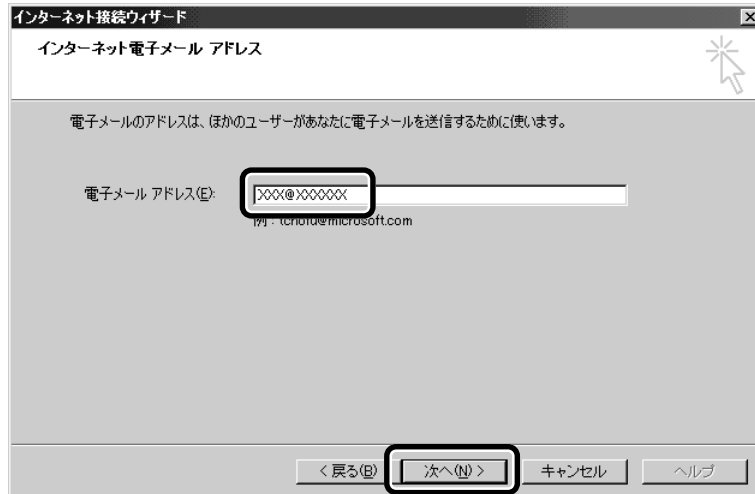
半角カタカナは使用しないでください。



[インターネット電子メール アドレス] 画面が表示されます。

## 7 [電子メール アドレス] にメールアドレスを入力し、[次へ] ボタンをクリックする

プロバイダから割り当てられているアドレスを「xx@xx.xx」の形で、半角英数字で入力します。



[電子メール サーバー名] 画面が表示されます。

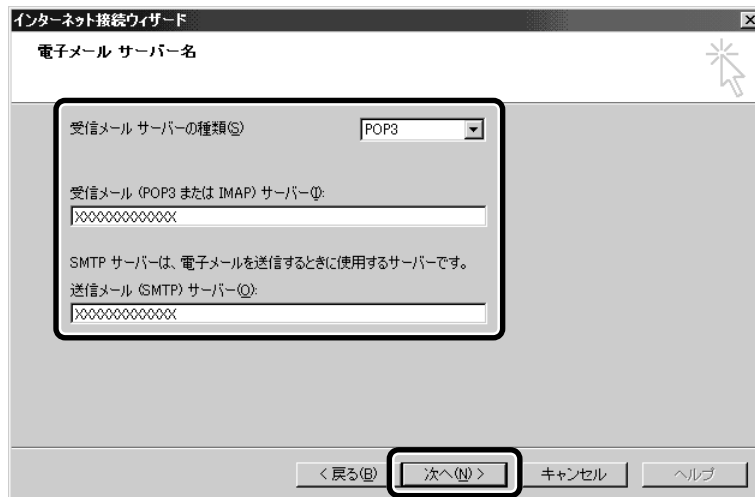
## 8 サーバ名を設定し、[次へ] ボタンをクリックする

受信メール サーバーの種類 : 「POP3」を選択します。

受信メール (POP3 または IMAP) サーバー : 受信メールのサーバ名を入力します。

送信メール (SMTP) サーバー : 送信メールのサーバ名を入力します。

受信メール、送信メールの各サーバ名については、ご契約のプロバイダにご確認ください。



[インターネット メール ログオン] 画面が表示されます。

- 9** アカウント名とパスワードを入力し、[次へ] ボタンをクリックする  
アカウント名：プロバイダに接続するときのアカウント名を入力します。  
パスワード：プロバイダに接続するときのパスワードを入力します。\*（アスタリスク）で表示されます。  
アカウント名とパスワードについては、プロバイダとの契約内容をご確認ください。  
[パスワードを保存する] をチェックした場合は、接続するたびに、自動的にパスワードが送信されます。

インターネット接続ウィザード

インターネット メール ログオン

インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。

アカウント名(A): XXXXXXXX  
パスワード(P): \*\*\*\*\*  
 パスワードを保存する(S)

インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを入力してください。アカウント名とパスワードは、インターネット サービス プロバイダから提供されたアカウント名およびパスワードを使用する必要があります。セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を必要としている場合は「セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する」をオンにしてください。  
 セキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) を使用する(S)

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

インターネットに接続する方法の選択画面が表示されます。

- 10** [手動でインターネット接続を確立する] をクリックし、[次へ] ボタンをクリックする

インターネット接続ウィザード

インターネット サービス プロバイダからアカウントを取得し、すべての必要な接続情報が既にある場合は、電話回線を使ってアカウントに接続できます。インターネットに接続されているローカル エリア ネットワーク (LAN) に接続している場合は、LAN 上でインターネットにアクセスできます。

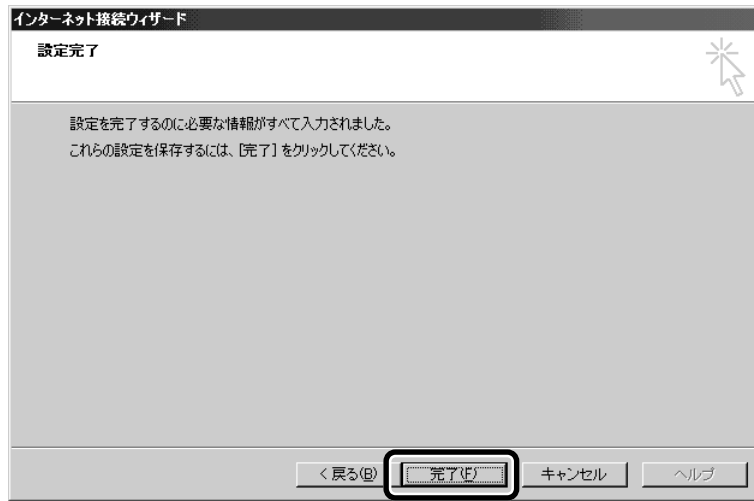
インターネットに接続する方法を選んでください。

電話回線を使って接続する(P)  
 LANを使って接続する(L)  
 **手動でインターネット接続を確立する(M)**

< 戻る(B) **次へ(N) >** キャンセル ヘルプ

[設定完了] 画面が表示されます。

## 11 [完了] ボタンをクリックする



「Outlook 2000」の設定が完了します。

## オプションの設定

電子メールを送る形式について設定します。

- 1 メニューバーから [ツール] - [オプション] をクリックする  
[オプション] 画面が表示されます。

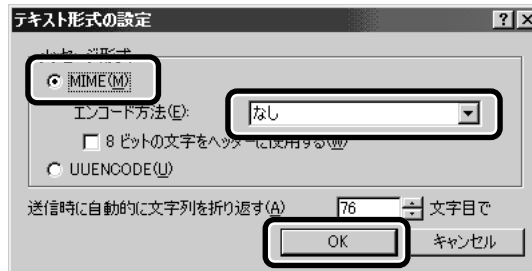


- 2 [メール形式] タブで [このメッセージ形式で送信する] の [テキスト形式] を選択し、[設定] ボタンをクリックする



[テキスト形式の設定] 画面が表示されます。

- 3 メッセージ形式を設定し、[OK] ボタンをクリックする  
メッセージ形式 : [MIME] をチェックします。  
エンコード方法 : [なし] を選択します。

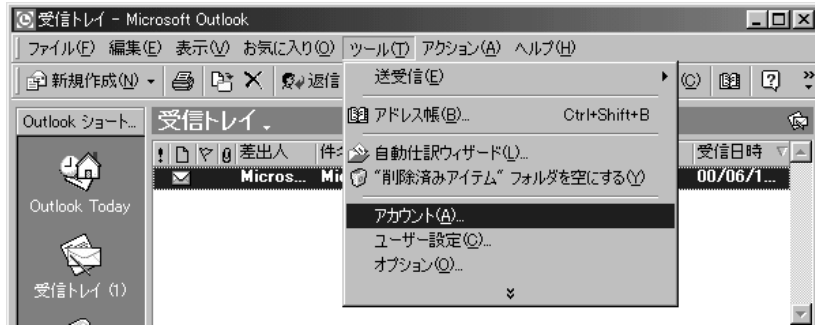


[オプション] からは、他にもさまざまな設定が行えます。

## ② メールソフトの設定を確認する

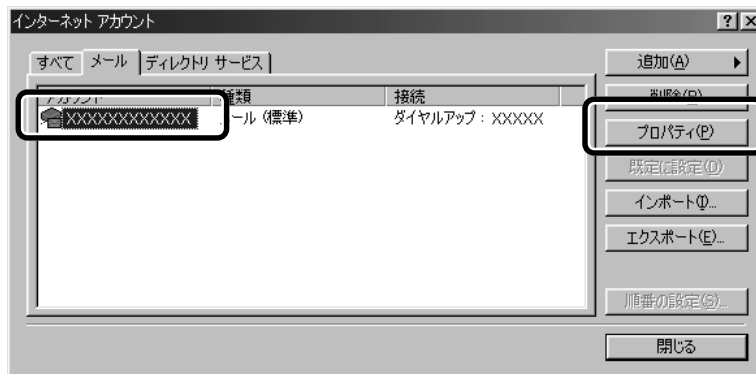
「Outlook 2000 接続ウィザード」、またはその他の接続用ソフトで行なった設定の確認、変更ができます。

### 1 メニューバーから [ ツール ] - [ アカウント ] をクリックする



(表示例)

### 2 [ メール ] タブでアカウント名が選択されていることを確認して、[ プロパティ ] ボタンをクリックする



(表示例)



#### ・アカウント

インターネットの利用者を特定するための情報です。ユーザIDとパスワードからなります。

## 5

章

インターネット/電子メール

### 3 各タブで設定を確認する

#### [全般] タブ



(表示例)

#### 名前を確認する

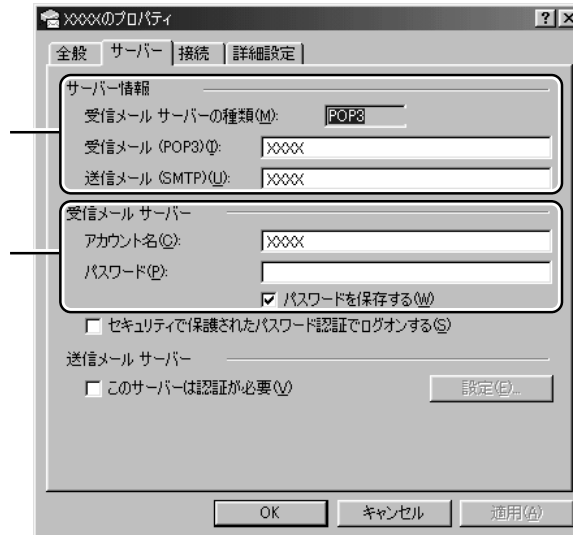
差出人の名前を確認します。変更する場合はひらがな、全角カタカナ、漢字、ローマ字で入力します。半角カタカナは使用しないでください。

#### 電子メールアドレスを確認する

差出人のアドレスが入力されているか確認します。プロバイダから割り当てられているアドレスが入力されているか確認してください。



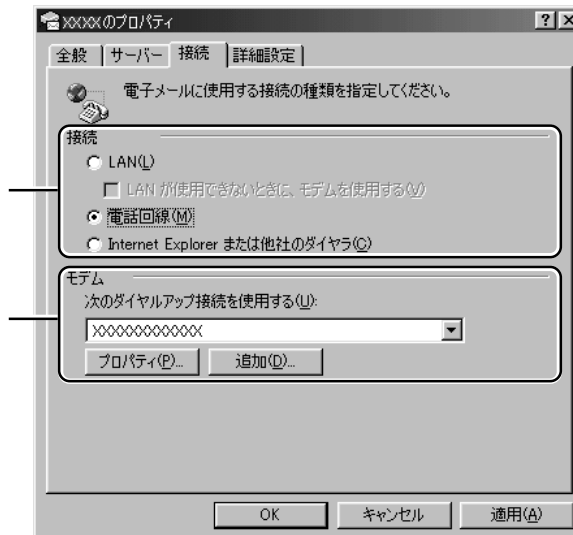
## [ サーバー ] タブ



(表示例)

[ サーバー情報 ] で [ 受信メール ][ 送信メール ] のサーバ名を確認する  
 [ 受信メールサーバ - ] で [ アカウント名 ] を確認する  
 サーバについての詳細は各プロバイダにお問い合わせください。

## [ 接続 ] タブ



(表示例)

[ 接続 ] で使用する回線を確認する  
 [ モデム ] で使用する接続を選択し、[ プロパティ ] ボタンをクリックする  
 画面が表示されます。

5  
章



(表示例)

接続先の電話番号が正しいか確認する

## 5 [OK] ボタンをクリックする

# 3 メールボタンを使う

ワンタッチでメールソフトを起動できます。



メモ

・メールボタンを使うには、イージーボタンのユーティリティのセットアップが必要です。  
 「2章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」

既定値では「Microsoft Outlook 2000」が起動するように設定されています。

「本節 1 メールソフトを設定する」をご覧ください。

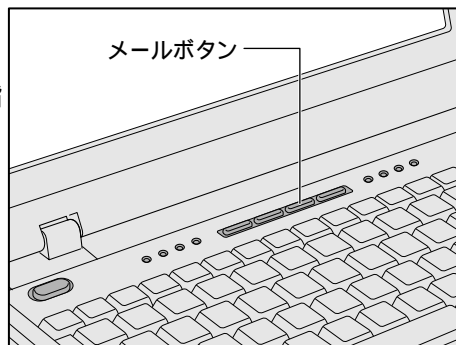
その他のソフトウェアに変更する場合は、「6章 1 イージーボタンを活用する」をご覧ください。

## 1 メールボタン を押す

パソコン本体の電源がOFFのときは、メールボタンを2秒以上押し続けた後、ボタンから指を離すと電源がONになります。

メール着信確認の機能が設定されているときは、新着メールの確認を行い、メールソフトが起動します。

「本節 4 新着メールを確認する」



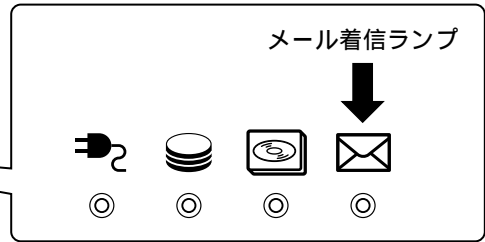
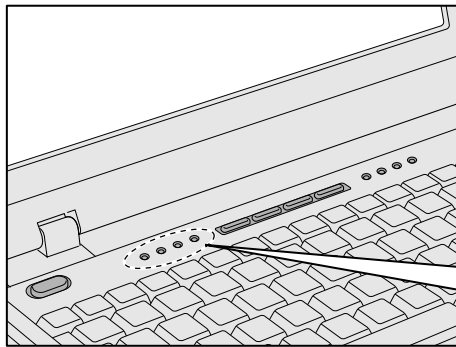
## 4 新着メールを確認する

メール着信ランプで、新着メールがあるかどうかを確認できます。新着メールがあると、メール着信ランプが点灯します。また、メッセージや音で知らせることもできます。この機能を使用するためには、あらかじめ設定が必要です。

AOLと契約してインターネット接続を行なっている場合、新着メール確認機能を使うことはできません。

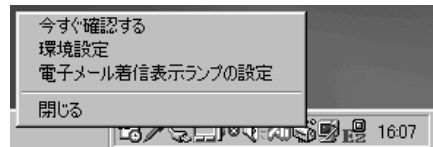


・新着メールを確認するときは、アクセスに応じて電話料金およびプロバイダへの接続料金が掛かります。



## 設定方法

- 1 タスクバーの ( ) アイコンを右クリックして、表示されるメニューから [ 環境設定 ] をクリックする



- 2 設定する



### [ 電子メール ]

ご使用のメールボックス情報を設定します。

ユーザネーム : 受信メールサーバのアカウント名を入力します。

パスワード : 受信メールサーバのパスワードを入力します。

POP3 サーバ : 受信メールサーバ名を入力します。

『各プロバイダの説明書』

### [ 着信確認 ]

新着メールを確認する間隔を設定します。

起動時に電子メールの着信を確認する：システムを起動したときに、新着メールがあるか確認します。

着信の自動確認を有効にする：設定時間ごとに新着メールがあるか確認します。

### [ 着信通知 ]

新着メールがきたときに、ランプ点灯以外の通知方法を設定します。

通知メッセージを表示する：新着メールがくると、メッセージを表示します。

音で知らせる：新着メールがくると、音を鳴らします。音は [ ファイルの参照 ] から設定できます。

## ● 新着メールの確認方法

新着メールの確認を行うときは、回線に接続されていなければ自動的に接続し、確認後、切断します。あらかじめ回線に接続されていたときは切断されません。

自動的に接続しない場合は、[ スタート ] - [ 設定 ] - [ コントロールパネル ] をクリックし、[ インターネットオプション ] - [ 接続 ] タブの [ ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする ] が選択されているか確認してください。


メール着信ランプの点灯後メールソフトを起動した場合、新着メールを読んでいなくても、メールソフトを終了するとメール着信ランプは消灯します。また、パソコンの電源を OFF にしてもメール着信ランプが消灯します。

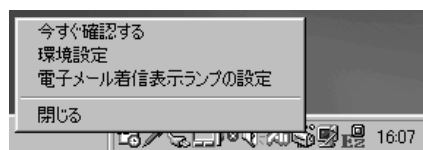
### ● 方法 1

メールボタンを押す

☞ 「本節 3 メールボタンを使う」

### ● 方法 2

タスクバーの (  ) アイコンを右クリックして、表示されるメニューから [ 今すぐ確認する ] をクリックする



( 表示例 )

### ● 方法 3

設定時間ごと、またはシステム起動時に確認する

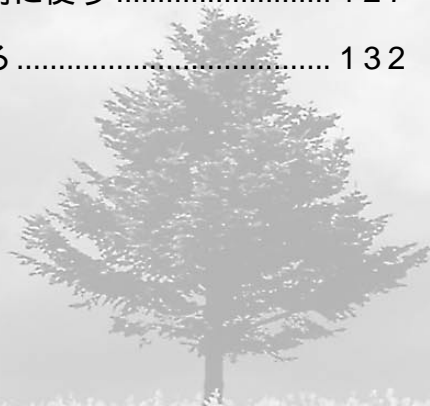
☞ 「本節 4- 設定方法」

# 6

## 便利な機能

お使いになると便利なソフトウェアや機能について説明します。  
使用している画面イメージは一例です。

- 1** イージーボタンを活用する ..... 124
- 2** タッチパッドを便利に使う ..... 127
- 3** 消費電力を節約する ..... 132



# 1 イージーボタンを活用する

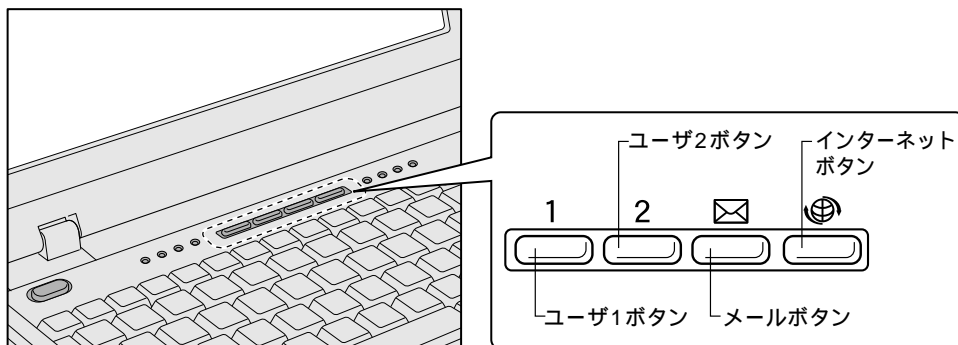
本製品には、ワンタッチでアプリケーションやファイルを起動できるイージーボタンがあります。



メモ

・ご購入時は、イージーボタンは有効に設定されていません。  
Windows セットアップ終了後、イージーボタンのユーティリティをインストールしてください。

☞ 「2章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」



ボタンを押すだけで、アプリケーションやファイルを起動したり、ある特定の操作（閉じる、消音など）を実行できます。

既定値では次のように設定されています。

ユーザ1ボタン / ユーザ2ボタン	設定されていません。 初めてボタンを押すと、登録画面が表示されます。 ☞ 「本節 アプリケーションやファイルを登録する」
メールボタン	Microsoft Outlook 2000 ☞ 「5章 4-3 メールボタンを使う」
インターネットボタン	Internet Explorer ☞ 「5章 2-5 インターネットに接続する（2回目以降）」

## ● 使用方法

### 1 各ボタンを押す

パソコン本体の電源がOFFのときは、ボタンを2秒以上押し続けた後、ボタンから指を離すと電源がONになります。

ユーザ1ボタン/ユーザ2ボタンを初めて押したときには、登録画面が表示されます。

☞ 「本節 アプリケーションやファイルを登録する」

## ● アプリケーションやファイルを登録する

**1** タスクバーの [ Easy Button ] (  ) アイコンをダブルクリックする

**2** 設定をする

必要な項目を設定してください。

画面は [ プロパティ ] で [ アプリケーションの起動 ] をチェックしている場合です。

[ 機能の選択 ] をチェックしているときは、[ 起動ファイル名 ] は表示されません。



( 表示例 )

### [ ボタン名 ]

ボタンを選択します。

WWW : インターネットボタン

Mailer : メールボタン

User-1 : ユーザ 1 ボタン

User-2 : ユーザ 2 ボタン

### [ プログラム名 ]

ボタンを押したときに、画面に表示したい名称 ( 文字 ) を入力します。

### [ 標準設定 ] ボタン

現在選択されているボタンの設定をご購入時の状態に戻します。

## [ プロパティ ]

次の中から、ボタンを押したときに起動するアプリケーションやファイルなどを選択します。

機能の選択 ..... チェックすると、あらかじめ登録されている一定の操作を選択できます。

MUTE	消音する
Close Application	選択されているアプリケーションやウィンドウを閉じる
Task Switch	タスクバーに表示されているウィンドウを順番に切り替える

アプリケーションの起動 ..... チェックすると、あらかじめ登録されているアプリケーションを選択できます。

起動ファイル名 ..... 上記以外のアプリケーションやファイルを登録したい場合、[ アプリケーションの起動 ] をチェック後、[ ファイルの参照 ] ボタンをクリックして設定します。

## [ 全てを標準設定に戻す ] ボタン

すべてのボタンの設定をご購入時の状態に戻します。

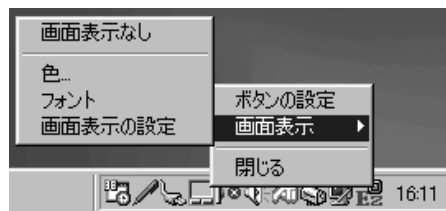
### 3 設定が終了したら、[ OK ] ボタンをクリックする

## ● 画面表示の設定

ボタンを押したときの画面の表示について設定できます。

### 1 タスクバーの [ Easy Button ] ( ) アイコンを右クリックする

### 2 [ 画面表示 ] を選択し、表示されるメニューから設定したい項目をクリックする



( 表示例 )

## [ 画面表示なし ]

ボタンを押したときに画面に [ プログラム名 ] を表示しません。

## [ 色 ]

文字の色を設定します。

## [ フォント ]

文字の種類を設定します。

## [ 画面表示の設定 ]

文字のサイズ、表示時間、背景色などを設定します。



## ② タッチパッドを便利に使う




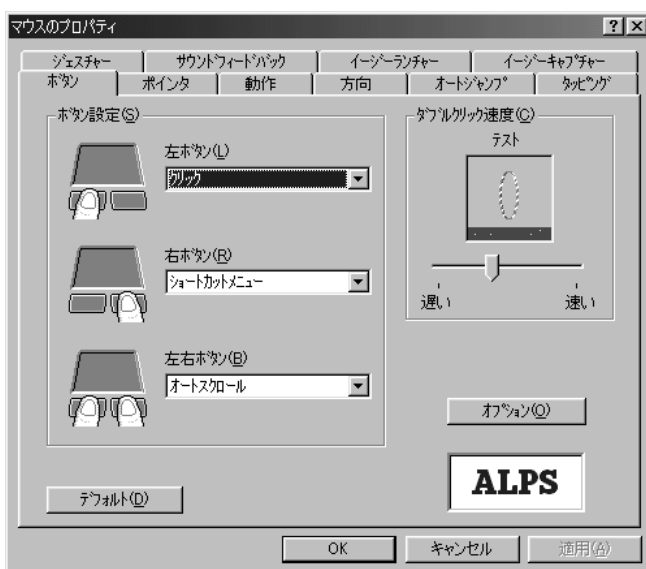
メモ

- ・ご購入時は、タッチパッドの基本機能のみ使用できます。  
Windows セットアップ終了後、タッチパッドのユーティリティをインストールしてください。  
☞ 「2章 2-2 イージーボタンとタッチパッドを使うために」

タッチパッドや右ボタン / 左ボタンはお好みに応じて、使いやすく設定できます。本節では、お使いになると便利な機能を紹介します。  
設定は [ マウスのプロパティ ] で行います。

### ● [ マウスのプロパティ ] の設定方法

- 1 タスクバー上の  アイコンをダブルクリックする画面が表示されます。





メモ

- ・[ スタート ] - [ 設定 ] - [ コントロールパネル ] をクリックし、[ マウス ] をダブルクリックしても表示できます。

- 2 各タブで機能を設定し、[ OK ] ボタンをクリックする  
[ キャンセル ] ボタンをクリックした場合は、設定が変更されません。

### ● ヘルプの起動方法

- 1 [ マウスのプロパティ ] 画面を表示し、画面右上の  をクリックする  
マウスポインタが  に変わります。
- 2 画面上の知りたい場所をクリックする  
説明文がポップアップで表示されます。

## ● タッピング機能

[ タッピング ] タブで設定します。

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。

タッピング機能を使うと、左ボタン / 右ボタンを使用しなくてもクリック ( 1 回たたく ) ダブルクリック ( 2 回たたく ) ドラッグアンドドロップ ( 2 回たたいて移動し、指を離す ) などの基本操作が行えて便利です。



### [ タッピング ]

チェックすると、タッピング機能が使用できます。

続けてタッピングするときの速度は、スライダーバーを動かして調節します。

### [ ドラッグロックの設定 ]

タッピングでドラッグした場合、指を離してもドラッグ状態を保ちたい場合は、[ ドラッグロック ] をチェックします。

ドラッグ状態を解除する方法を次の中から選択します。

[ 自動解除 ] : ある一定時間経ったらドラッグ状態を解除します。  
時間はスライダーバーを動かして調節できます。

[ タッピング又はクリックで解除 ] : タッピング ( 1 回たたく ) またはクリックの動作でドラッグ状態を解除します。

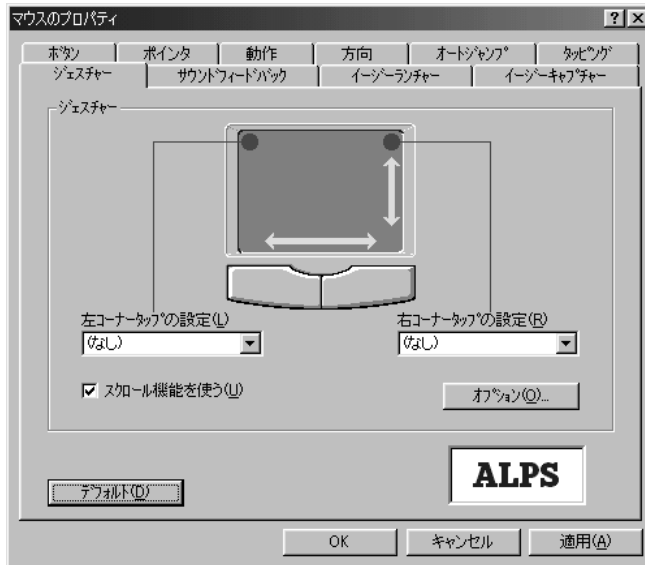
### [ キー入力時タップしない ]

タッピング機能を設定していても、キーボードから文字入力している間はタッピング機能が効かないようにします。ここをチェックすると、入力中にマウスポインタが意図しない場所に移動してしまうのを防ぐことができます。

## ● タッピング機能を便利に使う





[ジェスチャー] タブで設定します。

タッチパッドの右上、左上をタッピングしたときの動作やスクロール機能を設定しておくことができます。



### [左コーナータップの設定][右コーナータップの設定]

タッチパッドの左上、右上をタッピングしたときの動作を設定できます。




なし	設定しません。
ショートカットメニュー	右クリックや  キーを押したときと同じ動作をします。
オートスクロール	マウスポインタが  アイコンになります。このアイコンを中心にしてスクロールしたい方向にマウスポインタを移動すると  (表示例：下の場合) が表示され、自動的にその方向の端までスクロールします。
イージーランチャー	イージーランチャー画面を表示します。  「本節 イージーランチャー機能」
イージーキャプチャー	イージーキャプチャー画面を表示します。一時的にメモ帳のように使用できます。

### [スクロール機能を使う]

タッチパッドの右端、下端に指を合わせて上下または左右に動かしたときに、スクロール機能を使用するときはチェックします。

## オートジャンプ機能

[ オートジャンプ ] タブで設定します。

ウィンドウを開いたときに、マウスポインタが自動的に指定の位置に移動する機能です。3つの項目から、マウスポインタを移動したい位置をチェックして、優先順位を設定します。チェックすると優先順位に従って、   が表示されますので、位置をご確認ください。

ウィンドウによって内容が異なりますので、ウィンドウの内容と優先順位に従って、マウスポインタが移動します。


画面はすべての項目をチェックした場合です。



## イージーランチャー機能

イージーランチャー画面をデスクトップ上に一時的に表示し、ボタンをクリックするだけで、最小化、閉じるなどの操作を実行したり、登録したアプリケーションやファイルを簡単に起動できる機能です。

### イージーランチャー画面を使う

- 1 タスクバーの  を右クリックして、表示されるメニューから [ イージーランチャー ] をクリックする

イージーランチャー画面が表示されます。画面が表示されている間、マウスポインタはイージーランチャー画面内しか動きません。



(表示例)



・[ ジェスチャー ] タブの [ 左コーナータップの設定 ] または [ 右コーナータップの設定 ] で [ イージーランチャー ] を選択すると、タッチパッドの左上または右上を 1 回たたくだけでイージーランチャー画面が表示されます。

- 2 イージーランチャー画面のボタンをクリックする  
ボタンをクリックすると、イージーランチャー画面は消えます。

## ● ボタンを登録する

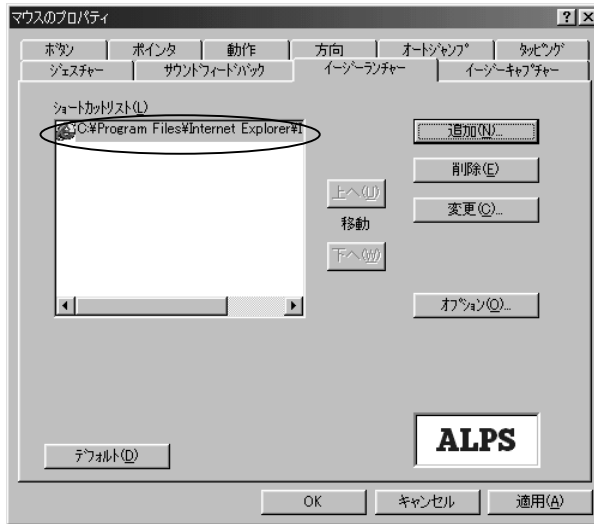
[ イージーランチャー ] タブで設定します。

### 1 [ 追加 ] ボタンをクリックする

### 2 登録したいアプリケーションやファイルを選択し、[ 開く ] ボタンをクリックする

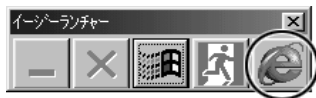
ショートカットリストに追加されます。

画面は「Internet Explorer」を登録した場合です。



### 3 ショートカットリストにアプリケーションやファイルが追加されたことを確認し、[ OK ] ボタンをクリックする

イージーランチャー画面に登録されます。



・イージーランチャー画面の表示形式を変更するには、[ オプション ] ボタンをクリックし、表示される画面で設定します。

# 3 消費電力を節約する

本製品には、パソコン本体を省電力で使うための機能が用意されています。これらの機能を使うと、使用目的や環境に合わせて簡単に省電力設定が行えます。省電力設定を行うことによって、パソコン本体の消費電力を抑え、より長い時間バッテリー駆動でお使いいただけます。

**注意** ・CD-RW / CD-R 書き込み時は、省電力設定は行わないでください。  
(CD-RW ドライブは別売りです。)

## 1 電源を管理する

Windows では使用目的や環境に合わせて電源管理に関する設定を行うことができます。[電源の管理] プロパティでは、さまざまな場合に応じて使用環境を記憶し、簡単に変更することができます。

### [電源の管理のプロパティ]を表示する

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] をクリックする

2 [電源の管理] をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。



(表示例)

3 それぞれのタブで設定し、[OK] ボタンをクリックする

設定が終了したら、設定を有効にするためにシステムを再起動してください。

## ● [電源設定] タブ

使用目的や使用環境（モバイル、会社、家など）に合わせて、複数の電源設定を作成できます。環境が変化したときに電源設定を切り替えるだけで、簡単にパソコンの電源設定を変更することができ、快適にご使用いただけます。

### [電源設定]

ご使用の環境を選択します。

### [モニタの電源を切る][ハードディスクの電源を切る]

マウス、タッチパッド、キーボードから入力がない場合に、ここで設定した時間後にディスプレイやハードディスク装置の電源が一時的に切れます。

通常の状態に戻るには、マウスやタッチパッドを操作するか、キーを押します。

### [システムスタンバイ]

マウス、タッチパッド、キーボードから入力がない場合に、ここで設定した時間後にスタンバイ状態になります。

通常の状態に戻るには、電源スイッチを押します。

☞ スタンバイ機能について ☞ 「本節 2 スタンバイ機能を使う」

### [システム休止状態]

マウス、タッチパッド、キーボードから入力がない場合に、ここで設定した時間後に休止状態になります。

通常の状態に戻るには、電源スイッチを押します。

☞ 休止状態について ☞ 「本節 3 休止状態を実行する」

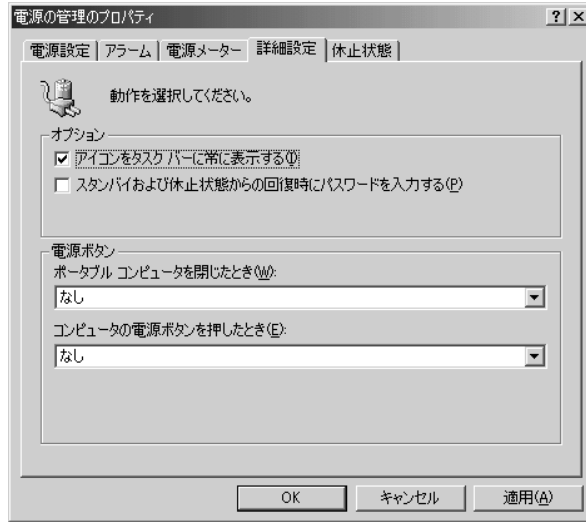
## ● [アラーム] タブ

バッテリー残量が少なくなったときの、ユーザに通知するためのアラームやメッセージおよび動作を設定します。

## ● [電源メーター] タブ



バッテリー残量などのバッテリー情報を表示します。

## ● [ 詳細設定 ] タブ



( 表示例 )

### [ アイコンをタスクバーに常に表示する ]

チェックすると、電源メーター  や  を常にタスクバーに表示します。

### [ スタンバイおよび休止状態からの回復時にパスワードを入力する ]

チェックすると、スタンバイまたは休止状態を実行した後、電源スイッチを押すとパスワードを入力してから、通常の状態に戻ります。

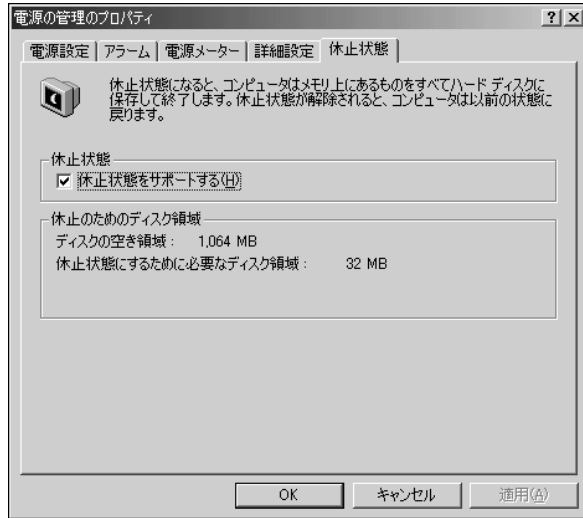
### [ ポータブルコンピュータを閉じたとき ] [ コンピュータの電源ボタンを押したとき ]

ディスプレイを閉じたときと、電源スイッチを押したときの動作を設定します。

電源オフ	Windowsを終了して、電源を切ります。
休止状態	電源を切ったときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、切ったときの状態を再現します。 ☞ 「本節 3 休止状態を実行する」
スタンバイ	ハードディスク装置や液晶ディスプレイなどの消費電力を最小限に節約します。通常の状態に戻るとスタンバイ状態になる前の状態を再現します。 ☞ 「本節 2 スタンバイ機能を使う」
なし	液晶ディスプレイの表示をオフにします。



## ● [ 休止状態 ] タブ



(表示例)


休止状態を使用する / 使用しないを設定します。

[ 休止状態をサポートする ] をチェックしていないと、休止状態は使用できません。

☞ 休止状態の実行方法 ☞ 「本節 3 休止状態を実行する」



お願い

- ・スタンバイ状態から通常の状態に戻るときは、パソコン本体の電源ランプ  が点滅しはじめてから 10 秒以上経ってから操作してください。  
また、休止状態から通常の状態に戻るときは、休止状態になってから 10 秒以上経ってから操作してください。  
スタンバイ状態または休止状態を実行した直後に通常の状態に戻すとシステムに負担がかかり、動作が不安定になることがあります。
- ・使用するアプリケーションの動作状態や、使用する増設機器、周辺機器によっては、アプリケーションが正常に動作しなかったり、スタンバイ状態または休止状態から復帰できないことがあります。この場合はスタンバイ状態または休止状態を使用しないでください。
- ・システムの変更作業（ドライバやプリンタ、ネットワークのセットアップなど）をする場合は、スタンバイ機能または休止状態を使用しないでください。作業途中でスタンバイ状態または休止状態になると、復帰後の動作が不安定になることがあります。
- ・Windows Me で使用しているときに「コンピュータは、何度か待機状態になり、応答を停止しました。今後、待機状態にならないようにしますか？」と表示された場合は、[いいえ] を選択してください。




メモ

- ・スタンバイや休止状態から通常の状態に戻る場合は、電源スイッチを押してください。

## ② スタンバイ機能を使う

スタンバイ機能は、ハードディスク装置や液晶ディスプレイなどの消費電力を最小限に節約する機能です。次に電源を入れると切ったときの状態を再現します。

スタンバイ機能を実行すると、液晶ディスプレイの画面が真っ暗になり、電源ランプが点滅します。

### ● スタンバイ機能を実行する



メモ

・方法 1 から方法 3 を実行しない場合も、一定の時間内 ([電源の管理のプロパティ] で設定) に、タッチパッド、マウス、キーボードからの入力がないときに、自動的にスタンバイ機能が実行されます。ご購入時は、バッテリー駆動で使用中のみこの機能が設定されています。

☞ 電源の管理のプロパティ ☞ 「本節 1 電源を管理する」

#### ● 方法 1- [Windows の終了] から実行する

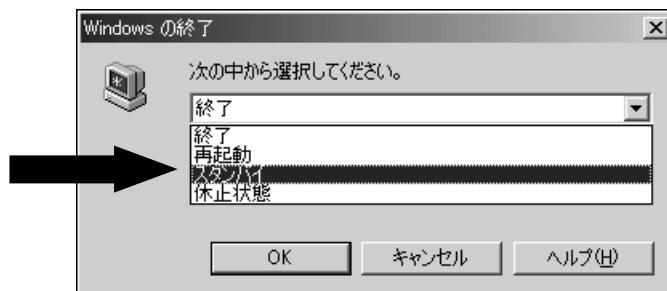
1 [スタート] - [Windows の終了] をクリックする



(表示例)

2 ボタンをクリックして [スタンバイ] を選択し、[OK] ボタンをクリックする

スタンバイ機能を実行して終了します。



## ● 方法 2- 電源スイッチを押す

### 1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする  
[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

[詳細設定] タブの [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [スタンバイ] を選択する

[OK] ボタンをクリックする

### 2 電源スイッチを押す

## ● 方法 3- ディスプレイを閉じる

### 1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする  
[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

[詳細設定] タブの [ポータブルコンピュータを閉じたとき] で [スタンバイ] を選択する  
[OK] ボタンをクリックする

### 2 ディスプレイを閉じる

## ● スタンバイ状態から通常の状態に戻る

### 1 電源スイッチを押す

通常の状態に戻ります。

### 3 休止状態を実行する

休止状態は、電源を切る直前の状態をハードディスクに保管する機能です。スタンバイ機能と同様、次に電源を入れると、切る直前の状態を再現します。



お願い

・休止状態中は、メモリの内容をハードディスクに保存します。バッテリー状態ランプが点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。データが消失します。

### ● 休止状態を設定する

休止状態を実行するには、あらかじめ設定が必要です。

- 1 [スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする
- 2 [電源の管理]をダブルクリックする  
このアイコンが表示されていない場合は、画面左の[すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。]をクリックしてください。
- 3 [休止状態]タブで[休止状態をサポートする]をチェックする  
ご購入時は有効に設定(チェック)されています。

### ● 方法 1- [Windows の終了] から実行する

- 1 [スタート] - [Windows の終了] をクリックする



(表示例)

- 2 ボタンをクリックして[休止状態]を選択し、[OK]ボタンをクリックする

書き込み画面の後、休止状態を実行します。



## ● 方法 2- 電源スイッチを押す

### 1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする  
[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

[詳細設定] タブの [コンピュータの電源ボタンを押したとき] で [休止状態] を選択する  
[OK] ボタンをクリックする

### 2 電源スイッチを押す

## ● 方法 3- ディスプレイを閉じる

### 1 ディスプレイを閉じたときの動作を設定する

[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]をクリックする  
[電源の管理]をダブルクリックする

このアイコンが表示されていない場合は、画面左の [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。] をクリックしてください。

[詳細設定] タブの [ポータブルコンピュータを閉じたとき] で [休止状態] を選択する  
[OK] ボタンをクリックする

### 2 ディスプレイを閉じる

## ● 休止状態から通常の状態に戻る

### 1 電源スイッチを押す

復帰画面が表示された後、通常の画面に戻ります。

